

カ ン マ
Kamma

と

サンパティ ヴィパティ
Sampatti、Vipatti

の繋がり

業と善円満、善不足の繋がり



パオ森林僧院 ピンウルイン ミャンマー

スマナ比丘

**Namo Tassa Bagavato
Arahato
Sammāsambuddhassa.**

阿羅漢であり

正自覚者である

かの世尊を

礼拝いたします。

はじめに

カンマ (kamma,業) という言葉の意味をパーリ語辞典で調べてみると、行為、実行、作業、仕事、などとあります。それぞれの意味はそれぞれの場面により用法や捉え方が違ってきます。

お釈迦様はカンマはチェタナー (Cetanā,思) であると説かれています。

この本では、第一章で辞書によるカンマの定義と用法を簡単に示し、第二章でカンマベータ (Kamma bheda,業種類) という色々に分類して説明したカンマを、第三章でカンマとサンパティ (Sampatti,善円満)、ヴィパティ (Vipatti,善不足) の繋がりについて説明します。

サンパティとは善いことに満たされていること、ヴィパティとは善いことが不足していること、つまり悪いこと、という意味があります。サンパティでカンマを作ったらクサラカンマ

(Kusala kamma,善業) となり、ヴィパティでカンマを作ったらアクサラカンマ (Akusala kamma,不善業) となります。

第二章はパーリ語やアビダンマが多くて読み難いと感じたらサンパティ、ヴィパティについて説明をした第三章から先に読んでみることをお勧めします。

カンマについて全てを知る智慧はブッダにしかありません。しかし、この本を参考にカンマとカンマの結果について、またカンマとサンパティ、ヴィパティの繋がりについて知り、今生をどのように生きたらよいか考え普段の生活に活かして実践していただけたらと思います。

スマナ

目次

第一章	カンマの定義	1
第二章	カンマベータ (Kamma bheda,業種類)	4
1)	パーカカーラカンマチャトウツカ	5
2)	キツチャカンマチャトウツカ	22
3)	パーカダーナパリヤーヤカンマチャトウツカ	36
4)	パーカターナカンマチャトウツカ	49
第三章	カンマとサンパティ (Sampatti,善円満)	
	ヴィパティ (Vipatti,善不足) の繋がり	60
1)	カンマとサンパティ、ヴィパティの繋がり 16 種類	60
2)	4 種類のサンパティと 4 種類のヴィパティ	74
3)	過去世のカンマと現世のカンマの繋がり	85
4)	どのように過去世のカンマが現世の因となるのか	89
5)	現世でどのようなカンマを作ればよいのか	96
6)	自分で変えられるサンパティ、ヴィパティと変え られないサンパティ、ヴィパティ	102

第一章 カンマの定義

- 1) カンマにはクサラカンマ (Kusala kamma,善業)、アクサラカンマ (Akusala kamma,悪業)、ヴィナヤカンマ (Vinaya kamma,毘尼羯磨) があります。
- 2) パリカンマ (Parikamma,遍作) をカンマとといいます。パリカンマとはサマタヴィパサナー (Samatha vipassana,止観) 瞑想の時の対象をいいます。例えばアーナーパーナ (Ānāpāna,安般) 瞑想の場合は呼吸がパリカンマ (Parikamma,遍作) となります。白色のカシナ (Kasiṇa,遍) 瞑想の場合は用意した白い布や白い紙がパリカンマとなります。
- 3) 何かをする時に努力をすることをカンマと言います。
- 4) 様々な仕事や行動をすることをカンマと言います。
- 5) カンマワーチャー (Kammavācā,羯磨儀規) という言葉を比丘出家の儀式の時にシーマホールの中で唱えることをカンマとといいます。
- 6) カンマはチェタナーです。

アビダンマピタカ (Abhidhamma piṭaka,論藏) においてお釈迦様は次のように説かれています。

チェタナー ハン ビッカヴェ カン マン ワダーミ
Cetanā haṃ bhikkave kammaṃ vadāmi.

比丘たちよ、思は業である、と私は説きます。

チェタイエイトヴァ カン マン カロティ カーイエナ ワーチャヤ マナッサー
Cetaiyitva kammaṃ karotī kāyena vācya manasā.

身体、言葉、心により意図され業は作られます。

(ADK290.ANS363)

身体で行動して作られたカンマはカーヤカンマ (Kāya kamma, 身業) となります。言葉を話して作られたカンマはワーチカンマ (Vācikkamma, 口業) となります。心により作られたカンマはマノカンマ (Manokamma, 意業) となります。

パッターナ (Paṭṭhāna, 発趣論) においてもお釈迦様はカンマはチェタナーである、と説かれています。

チェタナー— サンパユッタカーナン ダンマーナン タンサムッター—
Cetanā sampayuttakānaṃ dhammānaṃ taṃsamuttā-

ナーナンチャ ルーパーナン カンマバチェーナ バチャヨ
nānañca rūpānaṃ kammaṃ paccayena paccayo.

思は諸々の相応法及びその等起の諸色が起きて業縁による縁となります。(ADP)

お釈迦様はこのようにチェタナーはカンマとなると説いています。チェタナーはチッタ (Citta, 心) と同時に生じたチェタシカ (Cetasika, 心所) に含まれています。チェタナーはカンマが作られるためにリーダーの役割として自分自身も働き共に生じているチッタとチェタシカも働くように先導する役割を担っています。つまり1つのカンマを作るためにチェタナーが一番大切な働きをします。例えばチェタナーは軍隊の隊長の役割と同じような

ものです。戦争で敵と戦う時に隊長は自分自身でも戦場で相手に向かって戦うこともするし、兵士たちが戦うように命令を出します。チェタナーはその隊長の働きと同じような働きをします。また職場でプロジェクトチームを作った時のチームリーダーと同じような働きです。リーダーは自分自身も働くし、チームのメンバーが働くように指示を出します。これらの例えのように、チェタナーは共に生じたチッタとチェタシカが上手く働くため（カンマになるため）のリーダーの役割をします。そのチェタナーはカンマと同じである、とお釈迦様は説かれているのです。

上記定義の他、論蔵によるとカンマをサカカンマ（Saka kamma,自己業）とノサカカンマ（Nosaka kamma,他者業）と二つに分けた呼称もあります。（AA1-433）

サカカンマ（Saka kamma,自己業）とは自分自身がかもとも持っている善いものを支えるクサラカンマ（Kusala kamma,善業）をいいます。例えば自分が行ったスチャリタ（Sucarita,善行）10種類の結果がもっと善くなるように支えます。

ノサカカンマ（Nosaka kamma,他者業）とは自分自身がかもとも持っている善いものを破壊してしまう、無くしてしまおうアクサラカンマ（Akusala kamma,悪業）をいいます。

また、カンマにはカンマニヤマ（Kammaniyama,業決

定) という働きがあります。カンマはカンマニヤマ (Kammaniyama,業決定) の通りに結果を出します。クサラカンマは良い結果を生じ、アクサラカンマは悪い結果を生じさせます。道理の通りの結果が生じることをカンマニヤマといいます。

第二章 カンマベダ (Kamma bheda,業種類)

カンマチャトウツカ (Kamma catukka,業四集)

カンマは以下の4種類に分類することができます。

1) パーカーラカンマチャトウツカ

(Pākakāla kamma catukka,結実時期による業四集)

2) キッチャカンマチャトウツカ

(Kicca kamma catukka,作用による業四集)

3) パーカーナパリヤーヤカンマチャトウツカ

(Pākadānapariyāya kamma catukka,結実順序による業四集)

4) パーカーナカンマチャトウツカ

(Pākathāna kamma catukka,結実地による業四集)

1) パーカーラカンマチャトウツカ

カンマの結実する時期四種類。

- ① **ディッタダンマヴェダニーヤカンマ** (Ditṭhadhamma vedanīya kamma, 現法受業) : 今世で結実するカンマ。
第一ジャヴァナに含まれるチェタナー。
- ② **ウパパジャヴェダニーヤカンマ** (Upapajja vedanīya kamma, 次生受業) : 来世で結実するカンマ。
第七ジャヴァナに含まれるチェタナー。
- ③ **アッパラパリヤヴェダニーヤカンマ** (Aparāpariya vedanīya kamma, 後後受業) : 再来世から般涅槃に至るまでのいずれかの世で結実するカンマ。
第二から第六ジャヴァナに含まれるチェタナー。
- ④ **アホシカンマ** (Ahoṣi kamma, 既有業) : 結果を出せる時期であっても結実せず消滅してしまうカンマ (結実の時期を超えてしまった) カンマ。

パーカーラカンマ四期詳説

- ① **ディッタダンマヴェダニーヤカンマ** (Ditṭhadhamma vedanīya kamma, 現法受業) : 今世で結果を出すカンマです。後述の条件4つが全て揃った場合はカンマを作った時から7日以内に結実します。このカンマはこのカンマ単体で結果を出す力はありません。

中部經典註釈などには次のように書かれています。

サ タ ス チ テ ス ク サ ラ ー ワ ア ク サ ラ ー ワ パ タ マ ジャ ヴ ア ナ
Sattasu cittesu kusalā va akusalā va paṭhama javana

チェタナー ディ ッ タ ダ ン マ ヴェダニーヤ カ ン マ ン ナ ー マ ホ テ ィ
cetanā diṭṭhadhamma vedanīya kammaṃ nāma hoti.

7つある善業あるいは悪業の心のうち、現法受業となるのは第一速行に含まれる思です。(MNA3-234, ANA104, VM2-236)

この意味を理解するために心が生じた時のヴィーティ (Vīthi, 心路) プロセスについて知る必要があるので少し説明をします。

例えば何かを眼で見た時に生じた心のヴィーティのプロセスは次の順番になります。

- (1) パンチャドゥヴァーラーヴァジャナ (Pañca dvārāvajjana, 五門引転心)
- (2) チャクヴィンニヤーナ (Cakkhu viññāna, 眼識)
- (3) サンパティッチャナ (Sampaticchana, 領受心)
- (4) サンティーラナ (Santīraṇa, 推度心)
- (5) ヴォタッパナ (Voṭṭhapana, 確定心)
- (6) ジャヴァナ (Javana, 速行心) 7回
- (7) タダーランマナ (Tadārammaṇa, 彼所縁) 2回

このチッタのプロセスの中でカンマになるのはジャヴァナの部分のみです。1つのヴィーティチッタの中で7回あるジャヴァナにカンマが作られます。つまり1つのヴィーティチッタが生じるとカンマは7回作られます。

ディッタダンマヴェダニーヤカンマとはジャヴァナの

一番目の第一ジャヴァナに含まれているチェタナーのことを言います。

最初に結実したカンマなので力があまりありません。パターンナで言うアーセワナサティ (Āsevana satti, 習行能力) がありません。アーセワナサティとは力が強くなるように支える作用を言います。ディッタダンマヴェダニーヤカンマは最初に作られたカンマなので支えるカンマが無く、後の第二、第三、第四ジャヴァナに比べると力は弱くなります。そのためパティサンディ (Paṭisandhi, 結生) に結実する力はありません。

パティサンディの力はありませんが、パヴァティカンマ (Pavatti kamma, 転起業) という今世で結実することができるカンマとなります。パヴァティとは今世で生きている期間を言います。ディッタダンマヴェダニーヤカンマは今世で結実する力を持っています。しかし第一ジャヴァナに生じたチェタナーなので力が弱く、結実するには以下の4種類の条件が揃わなければなりません。

《条件1》ワトゥサンパダー (Vatthu sampadā 所依具足)

例えばお布施をする場合、お布施を受ける側が崇高な徳に満たされた聖者であること。アナーガミ (Anāgamin, 不還者) かアラハン (Arahanta, 阿羅漢)、ブッダ (Buddha, 仏陀) あるいはパチェカブッダ (Pacceka buddha, 独覚仏) などお布施を受ける側が清浄で高い徳に満たされた人物であること。

《条件2》パッチャヤサンパダー (Paccaya sampadā 資具

具足)

例えばお布施をする場合、そのお布施の品が不正なく正当な手段で得られた正しく清らかさに満たされた物であること。

《条件3》チェタナーサンパダー (Cetanā sampadā, 思具足)

例えばお布施をする場合、お布施をする人に信仰心があり強い意思を持っていること。

プッバチェタナー (Pubbacetanā, 前思)、ムンチャチェタナー (Muñcacetanā, 中思)、アパラチェタナー (Aparacetanā, 後思) という行為の前、最中、行為の後という三つの時期に強いチェタナーに満たされていること。

《条件4》グナーティレカサンパダー (Gunātireka, sampadā, 福德具足)

例えばお布施をする場合、お布施を受ける側の人の徳が高い聖者であり、最も心が清浄な時であること。つまりアナーガミ、アラハン、ブッダやパチェカブッダがニローダサマーパティ (Nirodha samāpatti, 滅尽定) に入定してから出定した直後で最も清浄な心で満たされた時であること。

以上の4つの条件が揃えば第一ジャヴァナに含まれているチェタナーというカンマはディッタダンマヴェダニーヤカンマとして7日間以内に大きな結果を出すことができます。このカンマをアビダンマで言い表すと、

ソマナッササハガタニャーナサンパユッタチェタナー

(**Somanassa saḥagata nāṇa sampayutta cetanā**,喜俱智相
応思) となります。

ソマナッササハガタニャーナサンパユッタチッタ

(**Somanassa saḥagata nāṇa sampayutta citta**,喜俱智相
応心) に含まれるチェタナーです。ですからこのカンマは
すぐに結果を出す力を持っているのです。

―クサラカンマの例としてブンナ青年の話―

中部経典の註釈などからクサラカンマのお話です。

ブンナという名前の青年のお話です。彼は貧しい青年
でした。ある朝早く、サーリプッタ (Sāriputta, 舎利弗) 大
長老がニローダサマーパティに入定し、出定の直後に
「誰が私のお布施者になるのがよいだろうか？」と智慧
でご覧になりました。ニローダサマーパティに入定する
ことができるアラハンやブッダはこのように智慧でご覧
になることを度々なさるのです。(パオ大長老のおっしゃ
るには、ブッダやパチェカブッダは皆そのようになさる
のだそうです。慈悲を受けるに相応しいと思われる貧し
くて現在幸福ではないが、強いサッダーを持っている人
などを智慧で見渡して探します。ニローダサマーパティ
から出定した一番徳の強い時に、そのようなお布施者を
ブッダやアラハンの大慈悲により救うためにその人の所
に托鉢に行くのです。)

サーリプッタ大長老はそのように智慧でご覧になられ
て、ブンナ青年がお布施を受けるにふさわしい人物だと

判断され、彼が働いている畑に托鉢に出かけました。ブンナ青年は托鉢に来た大長老に洗顔に使う水、歯を磨くための水、飲み水を差し上げました。その後、ブンナ青年は奥さんが青年の為に作ってくれた朝ごはんを自分では食わずにサーリプッタ大長老に差し上げました。そのクサラの行為により、7日以内にブンナ夫妻は大金持ちになりました。彼らが畑を耕すと、土の中からどろどろと金銀が現れてきたのです。(MNA4-45,VM2-33)

このお話には4つの条件が揃っています。サーリプッタ大長老はアラハンであり、ニローダサマーパティから出定された直後でした。ブンナ青年はサッターに満たされた青年で、正当に得たものをお布施しました。このように4つの条件が揃っていたため、7日以内にディッタダンマヴェダニーヤカンマが結実してブンナ夫妻はたいへん裕福になりました。

クサラカンマの例としてカーラヴェリヤの奥さんの話
カーラヴェリヤの奥さんはニローダサマーパティから出定した後のマハーカッサパ大長老が托鉢にいらっしゃった時にお粥を差し上げました。その食事のお布施をした後、7日以内に自分の家の庭の土の中から金銀が出てきてお金持ちになりました。(MNA4-45,VM2-33) やはり4つの条件が揃っていました。マハーカッサパ大長老はアラハンであり、ニローダサマーパティから出定した直後でした。カーラヴェリヤの奥さんはサッターに満たされた

女性で、喜んでお粥をお布施しました。そのお粥は正しく得たものでした。

ディッタダンマヴェダニーヤカンマは今世のみに作用するカンマなので、もしも今世で結実しなかった場合はアホシカンマとなり消滅します。来世以降に結果を出すことはありません。

このカンマは4つの条件が揃って大きな結果を出しますが、ミャンマーの高僧レディサヤドーは著書パラマッタディーパニー (Paramattha-dīpanī, 第一義註釈) の中で、これらの4つの条件が揃わなくても多少はカンマが結実する場合もあるのではないかと書かれています。例えば、現在でいうとミャンマーや東南アジアなど世界の各地で洪水災害が起きていますが、そのような災害時に被災して困っている人々を助けるためにボランティア活動をした場合など、被災者などから感謝されたり政府や地域から表彰されたりという良い結果が現れます。それはこのカンマの結果ではないかということです。

—アクサラカンマの例としてナンダ青年の話—

律蔵註釈にあるアクサラカンマの例のお話です。

ナンダ青年のお話です。ナンダ青年はウッパラワンナ比丘尼の従弟でした。彼はウッパラワンナ比丘尼に好意を寄せていました。ウッパラワンナ比丘尼はブツダの弟子の比丘尼の中で二番目に地位の高い弟子で、マハーモ

ッガラーナ大長老のような鋭い神通力を持っている比丘尼でした。ウッパラワンナ比丘尼は森の中でニローダサマーパティに入定するのが好きなアラハンでした。彼女は過去 10 万劫の地球の頃から多くの善行を行って長い間波羅蜜を積んできました。お釈迦様の時代に波羅蜜が満たされ裕福な家に容姿端麗な美しい女性として生まれました。大変な美人だったので大勢の裕福な人々が自分の息子と結婚させたいと思い彼女の両親のところに求婚にやってきました。ウッパラワンナ比丘尼は一人っ子だったので父親は誰と結婚させるかなかなか決断できず、ついに彼女に出家することを提案しました。ウッパラワンナ比丘尼は長い期間、波羅蜜を積んできましたから元来、在家として生きるよりも出家の道を歩みたいという願望を持っていました。ですから父親の提案を喜んで即座に受け入れました。お釈迦様の元で出家をし、一生懸命に瞑想を頑張った結果、過去の波羅蜜によりすぐにアラハンの悟りを開くことができました。しかも優れた神通力を備えたアラハンとなったのです。

ナンダ青年は以前から彼女に好意を寄せていましたが、彼女が比丘尼になった後もあきらめきれずにストーカーのように見張っていました。ウッパラワンナ比丘尼が森の中の小さな小屋に滞在しニローダサマーパティに入って過ごすことも知っていました。ある日、彼女が托鉢から小屋に戻るころを見計らい待ち伏せして彼女を強姦してしまいました。その後、ナンダ青年は小屋から逃

げ出しウッパラワンナ比丘尼から見えなくなった所まで来た時に大地が裂けてナンダ青年は裂け目に飲み込まれて死んでしまいました。死後アヴィーチ (Avīci, 無間) 地獄に生まれ変わりました。(VA1-237)

ウッパラワンナ比丘尼はアラハンです。アラハンに対するこのような罪はパンチャーナンタリヤカンマ (Pañcānantariya kamma, 五無間業) であり、地獄に墮ちるほど大きな罪です。この場合もディッタダンマヴェダニーヤカンマはすぐに結果を出したのです。

—アクサラカンマの例として肉屋のナンダの話—

法句経注釈から、ナンダという肉屋の話です。ナンダは屠殺をしてその肉を売る商売をしていました。50年以上、牛を飼い毎日一頭ずつ殺してはその牛肉を売り歩く仕事をしていましたが、自分自身も牛肉が大好きで毎日自分の食べる分の牛肉をとっておき奥さんに料理してもらって食べていました。ある日、友人が牛肉を買いに来ましたが彼が不在だったため、奥さんは家にある彼の分の牛肉を友人に売ってしまい、彼の夕食の牛肉が無くなってしまいました。夕食の時間になりナンダは食卓に牛肉が無いことが解り怒り出し、明日殺す予定の牛の所に行き、怒りによりその牛が生きているまま舌を切りとってその舌を奥さんに料理するようにと言いました。舌を切られた牛は痛さに泣き出し口からは血が流れていました。奥さんが料理をしたその牛タン料理を食べた途端に

ナンダの舌が自然と切れて口から血が流れだし舌を切られた牛のように痛みで泣き出してその後死んでしまいました。死後、地獄に生まれ変わりました。

彼の奥さんは息子が父親のようにならないようにと息子には屠殺の仕事はしないように教え、息子はそれに従い別の職業に就きました。(DPA,235、236)

このような残酷な行為をしたことによりナンダは大きなアクサラカンマを作りました。大きなアクサラはディッタダンマヴェダニーヤカンマとしてすぐに結実し、ナンダは悲惨な死に方をしました。そして死後は地獄に墮ちてしまいました。

一アクサラカンマの例としてナンダ鬼の話一

中部經典註釈から、ナンダという名前の鬼の話です。ナンダ鬼はミッチャーディッティ (Micchā dhitthi, 邪見) を持っている鬼でした。(鬼の中にはブッダを尊敬している鬼もいれば反発する鬼もいます。天界でもブッダを尊敬する天もいればマーラ (Māra, 悪魔) のような天もいます。)

ナンダ鬼は邪見を持っていたので人の邪魔をしたり殺人をしたりするような鬼でした。ある日サーリプッタ大長老が頭髮を剃った後、ニローダサマーパティに入定しました。その夜は満月だったので月の光が剃ったばかりの頭を照らして光っていました。ナンダ鬼はサーリプッタ大長老の光っている頭をみて興味を示し、殴ってみよ

う、と考えました。鬼の腕力は強力で大きな石でも粉々にするする力があります。別の鬼（その鬼は良い鬼かもしれません）がナンダ鬼に、サーリプッタ大長老はブツダの第一弟子なのだから、そのような大長老を殴ったりしたら大変なことになる、と注意をしましたが、ナンダ鬼は聞き入れずサーリプッタ大長老の頭を殴ってしまいました。しかし大長老はその時ニローダサマーパティに入定していたので殴られたことに気が付きませんでした。別のクティにいたマハーモッガラナ大長老は神通力によりそのことを知り、心配してサーリプッタ大長老のクティを訪問しました。ちょうどその時、サーリプッタ大長老はニローダサマーパティから出定したところだったので、マハーモッガラナ大長老はサーリプッタ大長老に、ナンダ鬼に殴られたことを尋ねました。サーリプッタ大長老は殴られたことは感じませんでした。ただ頭の上に何か風が吹いたような感覚があった、と答えました。サーリプッタ大長老が無事だったことが解りマハーモッガラナ大長老は褒めて喜びました。（ニローダサマーパティの威力は大変なものです。）

ナンダ鬼はこのアクサラな行為によりすぐに死んでしまい、死後地獄に堕ちました。（MNA4-5）

前述のパラマツタディーパニーにレディサヤドーはアクサラについても条件が揃わなくてもディッタダンマヴェダニーヤカンマは多少の結果を出すことがあるのではないかと書かれています。例えば盗みを犯した時に捕ま

って刑罰を受けるのはこのカンマの結果ではないかということなのです。

ディッタダンマヴェダニーヤカンマは力が弱くパティサンディに結実する作用はありませんがパヴァティの結果を出す力を持っています。このカンマを作った時点から今世が終わる死の時まで結果を出す力があります。その世で結実しなかった場合はアホシカンマとなります。大きなカンマの結実の為には4つの条件が揃わなければなりません。4つの条件が無かった場合は小さな結果が多かれ少なかれ結実する可能性があります。

このようなカンマを毎日作っている訳ですが、全てのカンマが結実するものではありません。結実しない理由として、条件が揃わない、ということもあるし対峙するカンマの影響で結果が出ないこともあります。つまりクサラカンマならアクサラカンマが、アクサラカンマならクサラカンマが作用することにより結実せずにアホシカンマになるということです。クサラのディッタダンマヴェダニーヤカンマが結実する場合はガティサンパティ、ウパディサンパティ、カーラサンパティ、パヨガサンパティが必要であり、アクサラのディッタダンマヴェダニーヤカンマが結実する場合はガティヴィパティ、ウパディヴィパティ、カーラヴィパティ、パヨガヴィパティが必要となります。このサンパティ、ヴィパティについて最後の章で説明します。

② ウパパジャヴェダニーヤカンマ (Upapajja vedanīya kamma, 次生受業) :

7つのジャヴァナの最後の七番目のジャヴァナに含まれる
チェタナーで、来世に結実する力のあるカンマです。

増支部経註釈書に次のように書かれています。

アッターサーディカー パ ナ サタマジャヴァナ チェタナー ウパパチャ
Atthāsādhikā pana sattamajavana cetanā upapacca
ヴェダニーヤ カン マン ナーマ タン アナンタリ アッタ ヴァーヴェ
vedanīya kammaṃ nāma. Taṃ anantari atta vāve
ヴィパーカン デティ タン パネ タン クサラ パケ
vipākaṃ deti; taṃ pane taṃ kusala pakke
アッタサマーパティ ヴァセナ アクサラ パケ パンチャーナンタリヤ
aṭṭhasamāpatti vasena akusala pakke pañcānantariya
カンマ ヴァセナ ヴェディタバ
kammavasena veditabbaṃ. (ANA2-104)

次生受業は第七番目の速行に含まれる思のことです。第七番目の善あるいは不善の思が次生受業です。善は定八種類、不善は五無間業が次生受業となります。

この第七ジャヴァナのウパパジャヴェダニーヤカンマは第六ジャヴァナによる多少のアーセワナサティ

(Āsevana satti, 習行能力) という支える作用があります。しかしその支える力はそれほど強力ではありません。

ここで、7回のジャヴァナの力の差についてアビダンマにある説明をします。

7回のジャヴァナは第一から第二、第三と進むにつれてカンマの力が強くなり、第四ジャヴァナが一番力の強いピークとなります。第五、第六、第七とだんだんと力が弱まります。第七ジャヴァナの後、余力によりタダーラ

ンマナ (Tadārammaṇa, 彼所縁) が 2 回続き味わいます。

第七ジャヴァナは第六ジャヴァナに含まれるカンマの支えがありますが、この支えはそれほど強く作用しません。しかしこのカンマは次の来世にパティサンディ (Paṭi-sandhi, 結生) の結果を出す力を持っていますし、パヴァティ (Pavatti, 転起) の結果を出すこともできます。

ウパパッジャヴェダニーヤカンマの結実には 2 種類の見方があるようです。

1 つはジャータカ註釈によるもので、そのカンマがパティサンディで結果を出しても出さなくてもパヴァティで結果が出る、という見方。(JA4-457,4-472) もう 1 つはパラマッタディーパニーによるもので、パティサンディで結果が出なければパヴァティでも結果が出ない、という見方です。カンマの結実はたいへん複雑な要因が絡み合っているので、この法則を見破ることはブッダの智慧でしかできることではありません。長老方の中でこのカンマの結実についての見方に相違があるようです。パオ大長老のご意見を聞いたり、経典などを読んでみた私 (スマナ) の意見は、このウパパッジャヴェダニーヤカンマはパティサンディの結果の有無にかかわらずパヴァティでは結果を出すのではないかと思います。

クサラでもアクサラでも何かの行為をするとチッタは猛スピードで生じています。一秒間に一兆回ほどの速さでチッタは生じています。ヴィーティは一秒間に数億回生じています。その 1 つのヴィーティの中の 7 つのジャ

ヴァナの七番目のジャヴァナに含まれるチェタナーがウパパジャヴェダニーヤカンマですが、そのカンマは数億回結実されていることになります。パティサンディとして結果を出すのはその中の1つのカンマです。一秒単位に生じるヴィーティのプロセスには数億回というカンマが結実しているのですから、それらがパヴァティカンマとして結実することがあるのではないか、ということです。カンマが熟した後に何かの対峙する作用のあるカンマによって破壊されてしまう、あるいは条件が揃わない、などの理由により消滅してしまうアホシカンマもあります。しかしアホシカンマ以外のカンマは必ず結果を出します。ですから、このカンマはパティサンディの結実の有無に関わらずパヴァティに結果を出すことはありうるというのが私（スマナ）の見解です。

③ アッパラパリヤヴェダニーヤカンマ (Aparāpariya vedaniya kamma, 後後受業) :

再来世以降、般涅槃に至る時までのいずれの世でも結実する力を持っているカンマです。第二から第六ジャヴァナに含まれているのでとても力強いカンマです。増支部経、中部経註釈では次のように説明されています。

ウ ビ ナ ン アンタレ パンチャジャヴァナ チェタナー アッパラパリヤ
Ubhinnaṃ antare pañcajavana cetanā apparapariya
 ヲ
vedaniya kammaṃ nāma: tam anāgate yadā okāsaṃ
 ラ バ ティ タダー ヴィパーカン デティ
labhati; tadā vipākaṃ deti. (ANA2-105, MNA3-234)

両端の速行の間にある5つの速行に含まれる思は後後受業といいます。この業は再来世から般涅槃に至るまで結果を与えます。

7つのジャヴァナの中で第二から第六ジャヴァナという中間にあるジャヴァナに含まれるカンマなので、アーセワナサティの支えもあり、最も強い力を持っています。再来世から般涅槃の時まで、いずれの世でも熟せば必ず結果を出すカンマです。般涅槃に至る時まで、いかなる人でも、たとえブッダでさえこのカンマから逃れることはできません。このカンマが熟したら必ず結果を出します。増支部経註釈で次のように説明されています。

エワン メワン エダン カンマン ヤスミン ターネ オカーサン
Evam mevaṃ eđaṃ kammaṃ yasmiṃ ṭhāne okāsaṃ
ラバティ タスミン イェワ ヴィバーカン デティ テナ ムット サット
rabhati; Tasmim̐ yeva vipākaṃ deti: tena mutto satto
ナーマ ナティ
nāma natthi. (ANA2-105)

この業は再来世以降、熟したら結実します。般涅槃に至らない限りこの業から逃れられる生きものはいません。

つまりどんな生きものでも、例えブッダでさえも、般涅槃に至る時までこのカンマからは逃れることはできません。

④ アホシカンマ (Ahoṣi kamma, 既有業) : 消滅して結果を出せず無効になったカンマをアホシカンマと言います。あるアホシカンマは熟す前に消滅してしまいます。あるカンマは熟したものの結果を出す前になんらかの作用に

より力を無くして無効になってしまいます。経典には例として、ある果樹が花を咲かせた後で実をつける前に落ちてしまった果実、あるいは実がなったもののちぎれて落ちてしまった果実のようなものである、と書かれています。

ディッタダンマヴェダニーヤカンマの場合、今世で無数に作っているカンマの中で第一ジャヴァナに含まれるカンマの1つだけがその世で結実します。他の同時に生じている無数のカンマは結果を出さずに消滅してしまいます。それらの無効になったカンマをアホシカンマといいます。

ウパパジャヴェダニーヤカンマの場合、第七ジャヴァナに含まれるカンマが来世に必ず結果を出します。同時に熟したカンマの中で1つだけがパティサンディとして結実しますが、結果を出すことができないカンマも無数にあります。それもアホシカンマといいます。

このように第一と第七ジャヴァナに含まれるカンマはアホシカンマとなる可能性があります。

アクサラカンマがアホシカンマになる例として、パンチャーナンタリヤカンマ (Pañcānantariya kamma, 無間業) という最も作用の強い5つのカンマを作った場合についてお話します。パンチャーナンタリヤカンマを作ったら来世には地獄に再生してしまいます。このカンマ5つは

- (1) 母親殺し
- (2) 父親殺し
- (3) アラハン殺し
- (4) ブッダを傷つける
- (5) サンガを分裂させる、で

す。ある人がこの5つのアクサラカンマをすべて作ったとします。この5つの中で最も作用が強いカンマは5番目のサンガベダカカンマ (Saṅghabhedaka kamma, サンガ分裂業) というサンガを分裂させるカンマです。このカンマが熟して必ず来世は地獄に落ちてしまいます。そして他の4つのカンマは熟しますが結果を出せずにアホシカンマとなります。

クサラカンマの例として、サマーパティカ (Samāpattika, 定) 八種類 (四種の色界禪定、四種の無色界禪定) という力強い禪定八種類全てを得た場合のお話です。パオ大長老の法話では「八種類の禪定を全て得たある人が第四禪定を好きで第四禪定の梵天界に行きたいと願い毎日毎日常に第四禪定に入定していたとすると、第四禪定によるカンマが来世のパティサンディとして結実して第四禪定の梵天界に再生したなら、他の禪定のカンマはアホシカンマとなります。」という例を挙げています。同じような例は論蔵にも書かれています。(AA2-434)

2) キッチャカンマチャトウツカ

カンマの働きや作用四種類

- ① ジャナカカンマ (Janaka kamma, 令生業) : パティサンディとパヴァティの結果を出す力があるカンマです。
- ② ウパタンバカカンマ (Upatthambhaka kamma, 支持業) : 自分自身では結実せず他のカンマの結実を支え

るカンマです。

- ③ ウパピーラカカンマ (Upapīlaka kamma, 妨害業) : ジャナカカンマの結実を抑えるカンマです。
- ④ ウパガータカカンマ (Upaghāta kamma, 殺害業) : ウパチェーダカカンマ (Upaccedaka) とも言います。ジャナカカンマとジャナカカンマから生じたヴィパーカカンダを殺害し自分の結果を出すカンマです。

キツチャカンマ四種類詳説

- ① ジャナカカンマ (Janaka kamma, 令生業) :

中部経典註釈などに次のように書かれています。

アバロナヨ ジャナカン ナーマ クサランピ ホティ アクサランピ
Aparonayo-janakam nāma kusalampi hoti akusalampi.
タン パティサンディヤンピ パヴァティピ ルーパールーパヴィパーカ
Taṃ paṭisandhiyampi pavattepi rūpārūpavipāka
カン デ ジャネティ
kkhande janeti.

令生業は善思も悪思もあります。それらの令生業は結生と転起双方の名色異熟蘊（業生色など）を作ります。

(MNA4-178, ANA2-109, VM2-236)

ジャナカカンマは自分自身で結果を出す力を持っています。ムーラカンマ (Mūla kamma, 根本業) とも言います。

カンマパタ (Kammapatha, 業処) になるジャナカカンマはパティサンディとパヴァティ双方の結果を出します。カンマパタにならないジャナカカンマはパヴァティの結果を出します。

パラマッタディーパニーに書かれているカンマパタになる例を2つ紹介します。

パーナーティパータ (Pāṇātipāta, 殺生) を犯した場合は、以下の5つの事象が揃う必要があります。

- (1) 殺生の相手が生き物である。
- (2) その生き物が生きてると認識している。
- (3) その生き物を殺そうとする意思がある。
- (4) その生き物を殺そうと努力する。
- (5) その生き物が死んだ。

これらの5つの事象が揃うとカンマパタになり、熟すと必ずパティサンディの結果を出し、悪趣界に再生します。いずれかの事象が欠けた場合はアクサラカンマとしてパヴァティに結実します。人間界に再生しても病気がちであったり、短命であったりします。

アディンナーダーナ (Adinnādāna, 偷盗) を犯した場合は次の5つの事象が揃わなければなりません。

- (1) 盗もうとする物が他人の物である。
- (2) その物を他人の物として認識している。
- (3) その物を盗みたいという意思がある。
- (4) その物を盗もうと努力する。
- (5) その物を盗んだ。

これらの5つの事象が揃うとカンマパタとなります。

(PD2-208)

1つのカンマパタとなるジャナカカンマはパティサンディの結果を1回だけ出します。殺生のカンマパタを1

回作った場合、熟したら1度だけ悪趣界に生まれるパーティサンディの結果を出します。もしもそのような殺生のカンマパタを何回も作っていた場合は何回も悪趣界のパーティサンディの結果を出すことになります。パヴァティの結果は多くの世に現れます。アクサラカンマ、クサラカンマが原因で悪趣界、人間界、天界などに何度も何度も再生するのはプッパチェタナー、モンチャチェタナー、アパラチェタナーなどのチェタナーの力によりカンマパタになるからです。

② ウパタンバカカンマ (Upatthambhaka kamma, 支持業) :

エヴァメヴァン マター ヴィヤ パティサンディニバタカン
Evamevaṃ mātā viya paṭisandhinibbattaṃ
ジャナカカンマン ダーティ ヴィヤ パヴァティ サンバタカンマン
janakakammaṃ, dhāti viya pavatte sampattakammaṃ.
ウパタンバカンナーマ クサレピ ラバティ アクサレピ
Upatthambhakaṃ nāma kusalepi labbhati akusalepi.

令生業と令生業が生じた結果を支える善と不善の思を支持業と言います。

ウパタンバカカンマはパーティサンディジャナカカンマとパヴァティジャナカカンマを支えるクサラ、アクサラチェタナーのことです。自分自身では結実せずカンマを継続させるために支えるカンマです。

特にパヴァティの時はクサラ、アクサラカンマで多くのジャナカカンマを支えます。例えば、クサラジャナカカンマで人間界に結生した場合には長命になるように支

えたりします。アクサラジャナカカンマで悪趣界に結生した場合にもそこでの寿命を長くなるように支えます。クサラウパタンバカカンマでアクサラジャナカカンマを支える場合もあれば、アクサラウパタンバカカンマでクサラジャナカカンマを支える場合もあります。

例えば、クサラジャナカカンマで人間界に結生したとしても、アクサラウパタンバカカンマの支えがあれば貧困層や悪人などの世界に生まれてしまいます。アクサラジャナカカンマで畜生界に結生してもクサラウパタンバカカンマの支えがあれば住処や食料に困らない場所（犬や猫として生まれても裕福な家のペットとなるなど。）に生まれます。

クサラウパタンバカカンマがクサラジャナカカンマで生じたカンダ（kandha, 蘊）を支える場合があります。その時、もしもクサラウパタンバカカンマ（例えばパーナーティパータを避けたカンマ）がジャナカカンマに話しかけたとしたら、次のようにお話するでしょう。

『「もしも私があなただを知っていたなら人間界に結生させずに天界に生まれさせます。」とは言いませんが言っていることと同じです。知っていたなら天界に結生させたかった。しかし、もしあなたが人間界に結生してしまってもあなたを富裕層や高貴な家柄に生まれるように支えます。』

クサラウパタンバカカンマは、危険から守ったり富や幸福をもたせたりして支えます。その人が母胎にいる

間から両親が豊かで幸せであるように支えます。さらに両親に厄が起きないように危険なことを排除するように支えます。さらに金銀の壺が前後左右から運ばれてくるように支えます。畑から作物がたくさん採れるように支えます。使用人が家の為にしっかりと働くように支えます。その人が健康に育つように両親や医者から見守ってもらうように支えます。(MNA4-179,ANT2-105)

パティサンディのジャナカカンマがクサラカンマで人間界に結生したとしても、アクサラウパタンバカカンマが支えたなら貧困になってしまうこととなります。

マラナサンニャー (Marāṇasaññā, 死想) にパティサンディクサラジャナカカンマが現れた場合にはクサラウパタンバカカンマが支えとなり善い界に結生します。パティサンディアクサラジャナカカンマが現れた場合にはアクサラウパタンバカカンマが支えとなり悪趣界に結生します。

クサラウパタンバカカンマがアクサラジャナカカンマで生じたルーパナーマカンダ (Rūpanāmakkhanda, 色名蘊) を支えることがあります。

アクサラウパタンバカカンマがクサラジャナカカンマで生じたルーパナーマカンダを支えることもあります。

例えば、アクサラジャナカカンマにより龍やガルダなどに生まれた場合、前に作ってきたクサラウパタンバカカンマの支えにより巨大な力や威厳を持てるように支えます。

クサラジャナカカンマにより天界、人間界の身体に生まれた場合、前に作ったアクサラウパタンバカカンマの支えにより長期にわたり貧困や困難なことが起きたり不幸になったりします。

③ ウパピーラカカンマ (Upapīlaka kamma,妨害業) :

ウパピーラカカンマはクサラ、アクサラのジャナカカンマが結実しないように妨害するカンマです。クサラカンマが結果を出そうとする時はアクサラのウパピーラカカンマが妨害します。アクサラカンマが結果を出そうとする時はクサラウパピーラカカンマが妨害します。クサラウパピーラカカンマ、アクサラウパピーラカカンマの2種類があります。その2種類共に、

- (1) 他のカンマを妨害します。
 - (2) 他のカンマのヴィパーカカンダ (Vipāka khandha,異熟蘊) を妨害します。
- (1) 他のカンマを妨害する場合

クサラジャナカカンマの結実をアクサラウパピーラカカンマが妨害する場合、例え人間界に結生したとしても貧困層に生まれたり、障害を持つ身体として結実してしまうこともあります。例えば王族や高貴な家柄に生まれる力があつたとしてもアクサラウパピーラカカンマの妨害によりクサラの力が弱まり一般人や貧困層に生まれてしまうこともあります。

このようにクサラカンマをアクサラウパピーラカカン

マが長命になれるカンマや裕福になれるカンマを妨害します。その反対に、たとえばニラヤ (Niraya, 地獄) に結生する強いアクサラカンマを作ったとしてもクサラウパピーラカカンマが妨害すると、八層の地獄の一番下のアヴィーチ (Avīci, 無間) 地獄に結生する力のあるカンマであっても軽い方の地獄に結生し地獄の寿命が短くなる場合もあります。

—アジャータサットウ王の例え話—

アジャータサットウ王は父親であるビンビスアーラ (Bimbisāra) 王を殺害して王様になりました。ビンビスアーラ王はソターパナ (Sotāpanna, 預流果) でした。ソターパナの父親を殺害した行為はマハーアヴィーチ (mahā-avīci, 大無間) 地獄に落ちる力を持つカンマとなります。しかし、アジャータサットウ王は父親殺しを公表しお釈迦様に帰依して真摯にお釈迦様の法話を聞きました。その法話の1つにサマニャーパラ (Samaññāphala, 沙門果) 経があります。その法話を聞いた後、仏法僧を敬い全身全霊を注ぎ仏法僧を援助しました。その善行がクサラウパピーラカカンマとなりソターパナである父親殺害のアクサラカンマを妨害しマハーアヴィーチ地獄ではなく少し軽いロハクンビ (Lohakumbhi, 銅釜) 地獄に結生することになりました。(DNA1-203)

—死刑執行人ワータカーラカの例え話—

ラージャガハ (Rājagaha, 王舎城) という町にワータカーラカという名前の死刑執行人が住んでいました。長い間、死刑囚を殺す仕事をしていました。引退後のある日朝食の準備をしている最中にサーリプッタ (Sāriputta, 捨利佛) 大長老が彼の家の前に托鉢に来ました。ワータカーラカは善行する機会だと思い家に大長老を招き入れて食事を差し上げました。そして食後に法話を聞きました。それらの彼の行為はダーナクサラ (Dāna kusala, 布施善) ダンマサワナクサラ (Dhamma savana kusala, 法聞善) と若干のヴィパサナクサラ (Vipāsana kusala, 観善) を作りました。それらのクサラカンマが殺生のアクサラカンマを妨害してワータカーラカは死後、タワリンサ (Tāvatiṃsa 三十三天) に再生しました。強いアクサラカンマをクサラウパピーダカカンマが抑え込んだのです。(ANA2109)

(2) 他のカンマのヴィパーカカンダ (Vipāka khandha, 異熟蘊) を妨害する場合。

パティサンディの結果のヴィパーカカンダ (Vipāka khandha, 異熟蘊) を妨害する例として、クサラカンマにより人間として結生した場合、(もしもアクサラウパピーダカカンマがそれを知っていたとしたら人間として再生させません。) 短命になったり病気がちになったりなどと、クサラカンマを弱体化し妨害します。たとえ裕福な家庭に健康体で結生したとしても貧困や病気がちになったりします。その人が母胎にいる間には両親が不幸に陥

ることもあります。

④ ウパガータカカンマ (Upaghātaka kamma, 殺害業) :

ウパガータカン パナ サヤン クサランピ アクサランピ
Upaghātaṃ pana sayāṃ kusalampi akusalampi
サマーナン アンニヤン ドウバラカンマン ガーテトヴァー タッサ
samānaṃ aññaṃ dubbalakammaṃ ghātetvā tassa
ヴィパーカン パティパーヒトヴァー アッタノ ヴィパーカッサ オカーサン
vipākaṃ paṭibāhitvā attano vipākassa okāsaṃ
カロティ ANA1-110 VM2-236
karoti. (ANA1-110,VM2-236)

1つの業とその業により生じた異熟蘊を殺害する善、不善思を殺害業と言います。

ウパガータカカンマは他のジャナカカンマとそのヴィパーカカンダを完全に破壊して殺してしまい、そのカンマの持つクサラ、アクサラの力を出します。

ウパガータカカンマにはクサラカンマを殺害するアクサラウパガータカカンマとアクサラカンマを殺害するクサラウパガータカカンマがあります。

—アジャータサットウ (Ajātasattu) 王の例え話—

アジャータサットウ王はソターパナである父親のビンビサーラ王を殺害したアクサラカンマを作りました。しかし、お釈迦様の教えを命がけで守ったことによるクサラカンマがそれを殺害しました。(ANA2-110-111)

—アングリマーラ (Aṅgulimāla) の例え話—

アングリマーラは大勢の人を殺害して多くのアクサラ

カンマを作りました。しかし、お釈迦様の元で出家し比丘となり熱心に修行をして遂にアラハンの悟りを得ました。そのマッガチェタナー (Magga cetanā,道思) によるクサラウパガータカカンマが全てのアクサラカンマを殺害しました。(ANA2-110-111)

一ソナ長老 (Soṇa thera) の父親の例え話一

昔、スリランカにソナ長老という神通力を持つアラハンの比丘がいました。彼の父親はハンターでした。父親は年老いてからハンターの仕事は良くなかったと反省し比丘である息子の元に行き、懸命に瞑想をして過ごしました。やがて死期が近づいた時、父親はハンターの時に動物を殺していた場面ばかり思い浮かべてしまい悪趣に再生してしまうような悪いニミッタ (Nimitta,相) を見てしまいました。ソナ長老は神通力で父親のニミッタを見て、このままでは父親が悪趣に落ちてしまうことを知り、花を用意して寝ている父親の手に持たせ、父親を仏塔に連れて行き父親にその花でブッダを供養するようにと促しました。そして花でブッダを供養したことを何度も思い出すようにと父親に話をしました。父親は息子の言う通りにその功德の喜びを何度も思い出したので喜びで満ちたりて穏やかで平安な心になりました。そして父親のガティニミッタ (Gatinimitta,趣相) に天界が見えました。ソナ長老は神通力により父親のニミッタを見て安心しました。父親は死後、天界に生まれ変わることができ

ました。父親は何十年もハンターとして動物を殺す仕事をしてアクサラカンマを作ってきて、そのカンマが悪趣界に再生するように作用していたにもかかわらず、死の直前に作ったクサラウパガータカカンマによりそのアクサラカンマを殺害して、天界に再生することができました。(ADA 2-420)

ウパガータカカンマがヴィパーカカンダを殺害する例としては、クサラジャナカカンマが結実して人間として生まれて寿命が80年あったとしても、アクサラウパガータカカンマによりクサラカンマが殺害され4-50代で早死にしてしまう場合があります。

ウパガータカカンマの働きは3種類あります。

- (1) 他のカンマを殺害するのみ。
- (2) 殺害後、別のジャナカカンマの結果を出す。
- (3) 殺害後、自身のパティサンディの結果を出す。

— (1) の例としてマハーモッガラナーナ大長老の話 —

マハーモッガラナーナ大長老は過去世で自分の親を殺害しようとしたことがあります。マハーモッガラナーナ大長老となった世で何者かに殺害されて殺されてしまいました。(PD,AD)

— (2) の例としてサーマーワティー女王の話 —

サーマーワティー女王が過去世で王様の娘として生を受けていた時、その父親である王様は神通力を持ってい

るアラハンを尊敬していました。ある時、その娘が仲間たちと川に水浴びに行きました。その川辺の茂みの中で王の尊敬するアラハンが滅尽定に入定して座っていました。娘たちは水浴びの後、冷えた身体を温めるために枯れ葉を集めて焚火をしました。火はだんだんと強くなり滅尽定に入っているアラハンのいる茂みに燃え移りました。娘たちはアラハンを焼き殺してしまったと思い、もしこのことが王様に知られたら怒りをかけてしまうと考え、アラハンの身体を完全に燃やして灰にして証拠を消してしまおうと、アラハンの周りに枯れ葉を積み上げて火の勢いを強くして完全に身体を燃やそうとしました。このアクサラの行為により、お釈迦様の時代にウデナ王の王妃、サーマーワティー女王として再生した時、王のもう一人の王妃の恨みによる放火により焼身して死んでしまいました。しかし、サーマーワティー女王は熱心な仏教徒でした。コソダラという名前の従者からお釈迦様の教えを教わり、熱心に瞑想修行をして慈悲の禅定に入ることができるようになりヴィパサナー瞑想もでき、ソターパナになっていました。それらのクサラがクサラウパカーダカカンマとしてアクサラカンマを抑え込み天界に生まれ変わりました。(VMA2-45)

— (3) の例としてドゥーシーマーラの話 —

ドゥーシーという名前のマーラ (Māra, 魔) がいました。ドゥーシーマーラはカクサンダブダ (Kakusandha)

の双壁高弟子の1人であるヴィドゥラ大長老の頭を石で殴りました。ドゥーシーマーラは死後地獄に再生しました。(MN1-407-415,MNA2-312-320)

— (3) の例としてカラブ王の話 —

お釈迦様はある菩薩の時にカンディワディという名前の行者でした。まだ仏教が栄えていない時期だったので森の中で一人瞑想をしていました。カンディワディ行者はカラブ王の宮殿に托鉢に行き、宮殿の庭で禅定に入り一日過ごしていました。ある時カラブ王が庭で宴会をしました。お酒を飲み酔っぱらって一人の女性と寝てしまいました。他の王様の従者たちはカンディワディ行者の所に行き、法話を聞いていました。王様の目が覚めた時、一人の女性だけ自分のそばにいて他の人たちの姿が見えません。他の人たちが皆カンディワディ行者の法話を聞きに行っていることを知り怒り出しました。怒りによりカンディワディ行者を殺してしまいました。そのことにより、王自身も死んでしまいました。その時のカラブ王は後のデワダッタでした。カラブ王はカンディワディ行者を殺害しなければ王として順調な生涯を送ることができたかもしれませんが、カンディワディ行者を殺害したことによりウパカーダカカカンマを作ってしまうとそのカンマが王としてのクサラカンマを破壊してしまい、死後地獄に落ちてしまいました。(JTA3-37-40)

3) パーカダーナパリヤーヤカンマチャトウツカ

結実を与える順による四種類

① ガルカカンマ (Garuka kamma, 重業) :

来世の結生で必ず結実する。

② アーサンナカンマ (Āsanna kamma, 近業) :

臨終時で作るカンマ。来世の結生に結実する。

③ アーチンナカンマ (Āciṅṅa kamma, 慣習業) :

習慣として繰り返し行って作るカンマ。

④ カタッターカンマ (Kaṭattā kamma, 已作業) :

上記3種類に入らないカンマ。

パーカダーナパリヤーヤカンマ四種詳細

① ガルカカンマ (Garuka kamma, 重業) :

クサラァークサレス パナ ガルカァーガルケス ヤン ガルカン ホティ
Kusalākusalesu pana garukāgarukesu yaṃ garukaṃ hoti,
タン ヤ ガルカン ナーマ タデタン クサラ バケ
taṃ yaggarukaṃ nāma. Tadeṭaṃ kusalapakkhe
マハガタカンマン アクサラバケ
mahaggatakammaṃ, akusalapakkhe
パンチャアーナンタリヤカンマン ヴェディタバ ン タスミン サティ セサーニ
pañcānantariyakammaṃ veditabbaṃ. Tasmim̐ satī sesāni
クサラニ ヴァー アクサラニ ヴァー ヴィパチトウ ン ナ サコンティ
kusalāni vā akusalāni vā vipaccitūṃ na sakkonti,
タデヴァ ドゥヴィダンピ バティサンディン デティ
tadeva duvidhampi paṭisandhim̐ deti.

重業には善業、悪業の2種類があります。善業は高大業であり、悪業は五無間業（含む決定邪見業）今世で重業を作ったなら他の業で支えることはできません。重業が

結生の結果を出します。(ANA2-105)

ガルカカンマにはクサラカンマ、アクサラカンマの2種類があります。クサラカンマはマハガタカンマ

(Mahaggatakamma, 高大業) です。アクサラカンマはパンチャアーナンタリヤカンマ (Pañcānantariya kamma, 五無間業)、ニヤタミッチャーディッティカンマ (Niyata micchādītṭhi, 決定邪見業) です。

今世でガルカカンマを作ったなら、他のカンマがガルカカンマを抑えることはできず、そのカンマは必ず来世のパティサンディジャナカカンマとなります。

クサラガルカカンマはサマーパティカ (Samāpattika, 定) 八種類 {ルーパヴァチャラジャーナ (Rūpāvacara jhāna, 色界禪、アルーパーヴァチャラジャーナ (Arūpāvacara jhāna, 無色界禪)}、ヴィパサナーニャーナ

(Vipassanāñāṇa, 観智)、下マッガニャーナ (Maggañāṇa, 道智)、下パラニャーナ (Phalañāṇa, 道智) を得たカンマです。

例えば第一禪定を得ている人が死の直前に禪定に入定したら、死後第一禪定の梵天界に結生します。第二禪定の場合は第二禪定の梵天界とそれぞれ得ている禪定の梵天界に生まれ変わります。アラハンマッガニャーナ、パラニャーナ以外のマッガニャーナ、パラニャーナを得ている場合は、それぞれの界に再生します。

アクサラガルカカンマのパンチャアーナンタリヤカンマは次の5つです。

- (1) マートウガータカカンマ (Mātughātaka kamma, 殺母業) 自分の母親を殺害する。
- (2) ピトウガータカカンマ (Pitughātaka kamma, 殺父業) 自分の父親を殺害する。
- (3) アラハンタガータカカンマ (Arahantaghātaka kamma, 殺阿羅漢業) アラハンを殺害する。
- (4) ロヒトウツパーダカカンマ (Lohituppādaka kamma, ブツダ流血業) ブツダを傷つけお身体から血を流す。
- (5) サンガベダカカンマ (Saṅghabhedaka kamma, サンガ分裂業) サンガを分裂させる。

パンチャアーナンタリヤのアーナンタリヤは無間の、という意味です。このカンマが作られたら間無く来世に結果を出します。ほとんどはアヴィーチ地獄に落ちます。また聖者になるための瞑想の上達を完全に止めてしまいます。

ニヤタミツチャーディッティカンマは3種類のワーダ (vāda, 説) に分類されます。(DNA1-144)

- (1) ナティカワーダ (Natthikavāda, 非有説)
- (2) アキリヤワーダ (Akiriyavāda, 非作業説)
- (3) アヘトウカワーダ (Ahetukavāda, 無因説)

これらの3つのワーダはカンマとカンマの原因と結果を否定しています。ニヤタミツチャーディッティワーダを持ったまま臨終を迎えると来世は地獄に落ちてしまうほどの強いアクサラカンマです。(DNA1-144)

—デワダッタの例え話—

デワダッタはお釈迦様を傷つける行為をした、サンガを分裂させようとした、など大きなパンチャアーナンタリヤカンマを作ったのでアヴィーチ地獄に落ちました。数々のパンチャアーナンタリヤカンマを作りましたが一番強いサンガを分裂させたカンマが結実して地獄に再生しました。

—アジャータサットゥ王の例え話—

アジャータサットゥ王は父親のビンビサーラ王を殺害したことによりアヴィーチ地獄に落ちる可能性がありましたが、のちに仏陀に帰依して尊敬していた行為がアクサラカンマを抑えてロハゴンビ地獄に落ちました。

—ダンマルーシ長老の例え話—

ダンマルーシ長老は過去世でマーガという名前の青年だった時、スメータ行者がディーパンカラブツダから授記を受けたことを知り、スメータ行者は後のブツダになれる尊い方と思いお世話をしました。その後悪い友達に出会い菩薩のお世話を止めてしまい、悪友にそそのかされて母親を殺してしまいました。そのことにより四阿僧祇劫と十万劫の長い間地獄に落ちていました。後にスメータ行者がお釈迦様として現れた世で地獄から人間に生まれ変わりお釈迦様の元でダンマルーシという名前の比丘になりました。お釈迦様はダンマルーシに「あなた

と私は長い間会いませんでしたね。」とおっしゃいました。長い間とは四阿僧祇劫と十万劫の間でした。

(Ap.2-68)

ディーパンカラブッタの時代、多くの人々は戒律を綺麗によく守っていたので、寿命は10万年ほどありました。母親はそのような時代の徳の高い人でした。そのような徳の高い母親を殺したことにより長い間地獄の苦しみを受けなければならなかったのではないかと、註釈書を書いたサヤドーは解説しています。殺害した相手の徳によりカンマの結果を受ける期間が変わります。徳が高い人を殺害するほど期間は長くなります。

ガルカカンマはカンマの中で最も重く、来世のパーティサンディに必ず結果を出すカンマです。

② アーサンナカンマ (Āsanna kamma, 近業) :

このカンマは臨終の時、アビダンマで言うマラナサンニャージャヴァナヴィーティ (Marāṇasaññājavana vīthi, 死想速行路) の近くで作ったカンマのことを言います。マラナサンニャーの次の心はパーティサンディですから、マラナサンニャージャヴァナの直前に作られたカンマ、あるいは突然現れたカンマは特別にアーサンナカンマとしてパーティサンディの結果を出します。もしもガルカカンマという重大なカンマを作っていなかった場合はこのアーサンナカンマをマラナサンニャージャヴァナが取りパーティサンディとして来世に結生し

ます。臨終の時に現れるカンマです。

増支部経註釈によると、臨終間際に例えばお布施をしたり、法話を聞いたり、戒律を受け直したり、あるいは自分が修習した瞑想をしたりすると、これらはクサラの行為ですから、クサラアーサンナカンマを作ることになる、と説明されています。(ANT2-102)

このように臨終の時の行為のみならず、臨終の時に過去の記憶を思い出すことでアーサンナカンマを作ることができます。例えばお布施をしたこと、功徳を積んできたことを思い出すだけでもマラナサンニャーのクサラアーサンナカンマとなります。

アクサラカンマでも同様です。例えば今生で誰かを傷つけたこと、殺害したこと、盗みをしたことなどを臨終の際に思い出してしまうと、アクサラアーサンナカンマとなり、来世の結生にアクサラカンマの結果を出してしまいます。(ANT2-102)

***カンマの働きを考えると、臨終の時というのはとても大事な時と言えます。例えば親の臨終に際して周りで嘆き悲しんで泣いたりすると、親は自分の死後の子供たちのことを心配してしまいます。あるいは財産や残された家族のことが心配になったりします。その心配する心はアクサラアーサンナカンマを作ることになり、来世は悪い界に結生することになってしまいます。

心配したり泣いたりする心はアビダンマでいうとアクサラチッタ (Akusala citta,悪心) です。弱いドッサチッタ (Dosa citta,瞋心) です。ですから死の直前に心配する心で死んでしまうと、来世は最小でも餓鬼界に結生してしまいます。最大では地獄界に結生してしまいます。臨終の際には注意が必要です。このようなブッダの教えを子供たちに伝えておくといよいでしょう。臨終の時には善い心でいることが非常に大切です。ミャンマーでもこのカンマの働きを知っている人は、自分が臨終を迎えた時にそばで泣かないようにと家族などに伝えていきます。善心で臨終を迎えるために、家族はその人が好きだった法話を聞かせてあげたり、その人が積んできた功德を思い出すように話してあげたり、その人が行ってきた善行為について話したりしたりすると、それらを聞きながら臨終を迎えた人の心がクサラになります。余談ですが人が死ぬときどんな順番で五門が消滅していくのでしょうか。先ず、眼門が消滅します。次に鼻門、舌門、身体、そして最後に消えるのは耳門のジーヴィタ (Jivita,命) です。ですから、死の直前まで聞こえてくる会話などがマラナサンニャーに影響を与える可能性が大きいので気を付けなければなりません。臨終の人の傍で泣いたりもめごとを話したりすることは避けてください。スマナ***

—ソナ長老の父親の例え話—

ウパガータカカンマの例えでも話した、50年以上ハ

ンターをしていたソナ長老の父親の話です。父親は年老いてから神通力を備えたアラハン比丘である息子の元で出家をして瞑想をしていました。しかし長い間動物を殺してきたので死が近づいた時にも動物を殺害しているニミッタが見えてしまいました。神通力によりそれを知ったソナ長老は父親を仏塔に連れていき花の供養をさせて、それを父親が何度も思い出すように父親にその功德について話しをしました。父親は息子の話を聞きブッダへの供養を思い出し、死の直前には心が穏やかで幸福に満ちて、ターヴァティンサ (Tāvātīmsa, 三十三天) 界に結生しました。ソナ長老のはからいにより父親の臨終の心をクサラに変え来世の行先を変えることができました。

—ダーミラドワーリカの例え話—

ダーミラドワーリカは50年間ほど、釣りをして釣った魚を売って生計を立てていました。死の直前にチューラピンタパーティカティッサ大長老という高僧から三帰依と五戒を授けていただきました。そのことによりクサラアーサンナカンマを作りチャートゥマハーラジカ (Cātumahārājika, 四天王) 界に結生しました。(ANA2-107,108)

—マハーワーチャカーラという男性信者の例え話—

マハーワーチャカーラは30年間三十二身分の瞑想修行をしていました。しかしオーバサニミッタ (Obhāsa

nimitta,光明相) さえ現れず、彼の心にブッダの教えは本当に涅槃を証悟できる教えなのか、という疑いが生じ、ブッダへのサッダー (Saddhā,信) が弱まり、仏法僧を敬う心も弱くなってしまいました。さらにミッチャーディッティ (Micchādīṭṭhi,邪見) を持つようになり仏教以外の宗教に改宗した方がいいのではないかという思いを持ちながら死期を迎えてしまいました。臨終の時にはそのアクサラがアーサンナカンマとして作られてしまい、死後ガンジス川にワニ餓鬼として餓鬼界に墮ちてしまいました。(ANA2-107,108)

アーサンナカンマはこのように来世の結生に結果を出す力を持っています。

*** 上記の例のように瞑想がうまく進まないからとブッダの教えに疑いを持たないようにしてください。ブッダの教えに疑いを持つことにより、アクサラカンマを作ってしまうことになるので注意してください。瞑想の上達には過去の波羅蜜も関係していますし、自分の努力や気づきの力も必要です。スマナ***

③ アーチンナカンマ (Āciṅṅa kamma,慣習業) :

アーチンナカンマは、日々、習慣として重ねて行っている行為により作られたカンマです。日々、行っている行為なのでとても力の強いカンマです。このカンマもクサラとアクサラカンマがあります。例えば、毎朝、習慣

として三帰依、五戒を唱えることはクサラアーチンナカンマとなります。ミャンマーの家庭では三帰依、五戒を毎朝唱えることは当たり前のように行われています。また、毎朝托鉢の比丘に食事を差し上げる家庭もありますが、それもクサラアーチンナカンマとなります。

私（スマナ）が子供のころは毎朝仏壇の前で三帰依と五戒を唱えてから学校に行き、学校でも先生の前で三帰依と五戒を唱えていました。夜寝る前にも再度、唱えました。凡夫は容易く五戒を破ってしまう煩惱を持っています。朝、家で三帰依、五戒を唱えても、仕事に出かけて嘘をついたり五戒を破ってしまうこともあります。ですから一日に何度でも五戒を受け直すことは良いことです。夜就寝前に三帰依、五戒をもう一度唱えると、夜寝ている間は戒律を犯すことはなく戒を守るきれいな状態が長く続くこととなります。

聖者になるとソターパナになった場合は、ミッチャーディッティ（Micchādīṭṭhi, 邪見）とウィチキッチャ（Vicikicchā, 癡）という仏法僧に対する疑う心やシーラバッタパラマンサ（Sīlabbataparāmāsa, 戒禁取）がありません。ソタパティマग्ガ（Sotāpattimagga, 預流道）がそのような心を消滅させています。聖者の心は我々凡夫とは全く違います。

毎朝、そこにブッダがいらっしゃる、とイメージしながら仏像にお水、朝作ったごはんや料理、お菓子、果物などを差し上げることもクサラアーチンナカンマを作る

行為となります。また毎日アーナーパーナ (Ānāpāna)、
メッター (Mettā,慈悲) あるいは自分の好きな瞑想をすること
もクサラアーチンナカンマとなります。教師など、
生徒に善いことを教える仕事もアーチンナカンマとなります。

アクサラアーチンナカンマは日々、何度も窃盗や強盗
をしてしまったり、仕事などで嘘をついたり、動物を殺
す職業に就いていたりしてもアクサラアーチンナカンマ
となる可能性があります。

臨終の時、ガルカカンマやアーサンナカンマが無ければ、
このアーチンナカンマが来世のパティサンディとして
結実します。クサラアーチンナカンマが作られたら人
間界、天界などスガティ (Sugati,善趣) という善い界に結
生し、アクサラアーチンナカンマが作られたなら四悪趣
のドウツガティ (Dugati,悪趣) という悪い界に結生しま
す。

ここでは1.ガルカカンマ、2.アーサンナカンマ、3.ア
ーチンナカンマの順に結生すると説明しています。この
順序はアビダンマッタサンガハ (Abhidhammattha
saṅgaha.撰阿毘達磨義論) による説明です。増支部経やヴ
ィスディマツガ (Visuddhimagga,清浄道論) などの一部で
はアーサンナカンマとアーチンナカンマの順番が入れ替
わり1.ガルカカンマ、2.アーチンナカンマ、3.アーサン
ナカンマという順番で説明されています。おそらくお釈
迦様は法話をする相手により変えたのではないかと思わ

れます。このカンマの順序を理解できるのはお釈迦様の智慧だけです。アーチンナカンマは毎日作っているカンマなので強い力があり、アーサンナカンマは臨終の時に突如現れて作られたカンマなので力は弱い訳です。一般的に考えてみると強いカンマのアーチンナカンマの方が結果を出し易いのですが、なぜアーサンナカンマが先になっているのか、増支部経註釈では牛の例え話により次のように説明されています。

牛飼いたちは夜になると放牧していた牛たちを牛舎に戻します。牛舎に入る時、力のある若い牛たちは先に牛舎に入ります。年老いて力の弱い牛たちは最後に戻ります。力の無い弱い牛たちはドアの近く、力のある牛たちは牛舎の奥で一夜を過ごします。朝、放牧の為に牛舎のドアを開けた時、ドアの近くにいる力の無い牛たちが奥から出ようとする力のある牛たちに押されて、先に出てきます。カンマの結果の出方はこの牛たちのようなものです。アーサンナカンマは弱くてもマラナサンニャーで作られて来世のパティサンディに結果が先に出てしまうこともあるのではないのでしょうか。(ANA2-117)

***アーチンナカンマはとても大切なカンマです。毎日、三帰依、五戒を唱えたり、水、食事、花でブツダを供養したり、瞑想をしたりすること、以前行った善行を思い出して喜んだりすることはクサラアーチンナカンマとなります。また、それらの功德をしてきたことを子供

たちなどに話をしておいて臨終の時に子供たちにそれを話して聞かせてもらい思い出すことはアーサンナカンマとなります。このようにすると、アーチンナカンマがアーサンナカンマにもなりうるのですから毎日、善い行いを習慣にすることは皆さんにとってとても良いことだと思います。スマナ***

④ カタッターカンマ (Kaṭattā kamma, 己作業) :

カタッターカンマは過去世で作ってきた一般的なカンマです。上記3種類のカンマが結実しなかった場合に現れるカンマです。作ってきた全てのカンマは熟してきたらカタッターカンマとして結実する可能性があります。このカンマもクサラカンマ、アクサラカンマの両方あります。(VMT2-377,ANA2-109)

このカンマはパティサンディ、パヴァティ双方の結果を出すことができます。パティサンディとして結実するのは前述のとおりカンマパダになった強い力のカンマのみですが、全てのカンマは熟せばパヴァティに結実する力を持つカンマです。(VMT2-377,ANA2-104,105)

人として生まれて順調に暮らしていたのに突然自分の会社が倒産してしまったり、突然病気になったりするなどの災難に会うのはアクサラカタッターカンマの影響ではないか。あるいは、突然仕事が成功した、宝くじに当たった、などはクサラカタッターカンマの影響ではないか、とミャンマーのサヤドー達は解釈しています。

4) パーカーナカンマチャトウツカ

来世の結生地四種類

- ① **アクサラカンマ (Akusala kamma,不善業) :**
四悪趣界のパティサンディに結実する。
- ② **カーマーヴァチャラクサラカンマ (Kāmāvacara Kusala kamma,欲界善業) :**
善欲界 (人と天) のパティサンディに結実する。
- ③ **ルーパーヴァチャラクサラカンマ (Rūpāvacara kusala kamma,色界善業) :**
梵天界 (十六層ある梵天界のいずれか) のパティサンディに結実する。
- ④ **アルーパーヴァチャラクサラカンマ (Arūpāvacara kusala kamma,無色界善業) :**
無色界 (四層ある無色界のいずれか) のパティサンディに結実する。

パーカーナカンマ四種詳細

- ① **アクサラカンマ (Akusala kamma,不善業) :**
アクサラカンマがパティサンディで結実すると、アスラ (Asura,阿修羅)、ペタ (Peta,餓鬼)、ティラッチャーナ (Tiracchāna,畜生)、ニラヤ (Niraya,地獄) の四悪趣界に生まれます。

ニラヤはさらに下記のように八層に分かれています

[1] サンジーヴァニラヤ (Sañjīva niraya,蘇生地獄)

- [2] サンガータニラヤ (Saṅghāta niraya, 圧縮 (衆合) 地獄)
- [3] マハーロルヴァニラヤ (Mahāroruva niraya, 大叫喚地獄)
- [4] マハーターパナニラヤ (Mahātāpana niraya, 大焦熱地獄)
- [5] カーラスッタニラヤ (Kālasutta niraya, 黒繩地獄)
- [6] ロルヴァニラヤ (Roruva niraya, 叫喚地獄)
- [7] ターパナニラヤ (Tāpana niraya, 焦熱地獄)
- [8] アヴィーチニラヤ (Avīci niraya, 無間地獄)

これらのニラヤでの寿命は何万年、何十万年という長い期間となります。人間界に近い上の方の地獄ほど寿命は短くなります。

② カーマーヴァチャラクサラカンマ (Kāmāvacara kusala kamma, 欲界善業) :

カーマーヴァチャラクサラカンマがパティサンディで結実すると、人間界か六層ある天界のいずれかに生まれます。

天界は人間界から近い方から以下の六層があります。
 チャートウマハーラージカ (Cātummahārājika, 四天王天)
 ターヴァティンサ (Tāvātimsa, 三十三天)
 ヤーマ (Yāma, 夜摩天)
 トウシタ (Tusita, 兜率天)
 ニンマーナラティ (Nimmānarati, 化樂天)

パラニンミタヴァサヴァッティ (Paranimmitavasavatti,
他化自在天)

③ ルーパーヴァチャラクサラカンマ (Rūpāvacara
kusala kamma,色界善業) :

色界禪定に入定しそのままパティサンディになるとルーパーヴァチャラクサラカンマが結実し梵天界の十六層のいずれかに生まれます。色界禪定は第一禪定から第四禪定まであります。それぞれ得られた禪定により以下のような色世界に生まれます。

第一禪定：ブラフマパーリサジャ (Brahmapārisajja,梵天)

(初禪) ブラフマプロヒタ (Brahmapurohita,梵輔天)

マハーブラフマ (Mahābrahma,大梵天)

第二禪定：パリッターバ (Parittābha,少光天)

アッパマーナーバ (Appamāṇābha,無量光天)

アーバッサラ (Ābhassara,發光天)

第三禪定：パリッタスバ (Parittasubha,少淨光天)

アッパマーナスバ (Appamānasubha,無量淨光天)

スバキンハ (Subhakinha,遍淨光天)

第四禪定 (凡夫と一部の聖者の場合) :

ヴェハツパラ (Vehapphala,広果天)

アサンニャーサッタ (Asaññāsatta,無想有情天)

第四禪定 (聖者の場合) :

アヴィハ (Aviha,無煩天)
アタツパ (Atappa,無熱天)
スダッサ (Sudassa,善現天)
スダッシ (Sudassi,善見天)
アカニッタ (Akanittha,無劣天)

アビダンマでは第四禪定を得た聖者で上記の5種の梵天界に結生したなら、次の生以降生まれ変わって下に下がることは無いと説明されています。例えばアヴィハに生まれた死後、転生する先はアヴィハより上の天となります。これら5つの天に結生できるのは第四禪定を得ているのみならず聖者です。聖者はヴィパサナーの智慧も持ち合わせているのでこの梵天界において指導者無く涅槃を悟ることができます。これらの5つの梵天界に存在できるのは聖者の中でもアナーガミ (Anāgāmin,不還者) とアラハン (Arahanta,阿羅漢) のみです。これらの世界の寿命は人間界と比較にならないぐらい長く、何万劫という長い寿命になります。

④ アルーパーヴァチャラクサラカンマ (Arūpāvacara kusala kamma,無色界善業) :

無色界禪定に入定しパティサンディに結実した場合は得られた禪定により次の4つの無色梵天界に生まれま

す。
第五禪定：アーカーサーナンチャーヤタナ (Ākāsānañcāyatana,空無辺処)

第六禪定：ヴィンニャーナニャーヤタナ（Viññāṇañāyatana
識無辺処）

第七禪定：アーキンチャンニャーヤタナ（Ākiñcaññāyatana
無所有処）

第八禪定：ネヴァサンニャーナサンニャーヤタナ
（Nevasaññānāsaññāyatana,非想非非想処）

これらの4つの無色梵天界にはナーマカンダ（Nāma-
kkhandha,名蘊）のみ存在しルーパカンダ（Rūpakkhandha,
色蘊）はありません。注意点として、この界にはルーパ
カンダが無いのでブツダの教えを聞く耳も無く、ブツダ
の教えを聞くこともできません。お釈迦様はこの界に結
生することを推奨していません。

以上でカンマ四集の説明を終わります。

中部経典のククラヴァティカンスutta（Kukkuravatika
sutta,犬行者経）を紹介します。

お釈迦様がコーリヤ国のコーリヤ族の町に滞在されて
いた時にコーリヤ族の息子の牛行者ブンナと犬行者セー
ニヤが訪ねてきました。ブンナはお釈迦様に「ここにい
るセーニヤは犬行者であり、長い間裸で犬のように地面
の食べ物を食べたり犬と同じように身体を丸めて眠ったり
牙をむいたり犬と同じ行動をする難行をしています。」と
話しました。セーニヤはお釈迦様に「ブンナは牛
行者で、長い間、牛のように食べたり眠ったり牛の声を
真似たりする修行をしています。」と話しました。彼らは

動物のように暮らす修行をすることで苦しみから逃れる
と思って修行をしていました。このような修行をしてど
んな運命になるのか、まずブンナがセーニヤのことをお
釈迦様に尋ねました。しかし、お釈迦様はブンナに「そ
のことについて私に尋ねないように。」とおっしゃいまし
た。

ブンナは三回お釈迦様に同じ質問をしましたがお釈迦様
は三回とも「私に尋ねないように。」とお答えになりました。
もう一度ブンナが同じ質問をしたので、お釈迦様は
「犬を真似る修行をしていると犬の仲間として生まれ変
わるでしょう。あるいは地獄か畜生界に生まれ変わるで
しょう。とお答えになりました。セーニヤはそれを聞いて
泣き出しました。セーニヤは「地獄に生まれ変わるこ
とを泣いているのではありません。この修行を長い間完
全に保っていたことを泣いています。」と答えました。そ
して、セーニヤはブンナが牛のように暮らす修行をして
いることをについてお釈迦様に尋ねました。お釈迦様は
「そのことも尋ねないように。」と三回尋ねられて三回答
えることをお断りになりましたがもう一度訪ねられて、
「ブンナも牛の仲間生まれ変わるか地獄に落ちること
になります。」とお答えになりました。ブンナも答えを聞
き泣き出しました。そして「地獄に落ちると言われたか
ら泣いているのではありません。長い間、牛の行を完全
に保っていたから泣いています。」と答えました。そして
「私たちはどのようにすれば長い間の犬の行や牛の行の

習慣を捨てることができるでしょうか。」とお釈迦様に尋ねました。

お釈迦様はそこで彼らに「よく聞いて、考えてください。」と四種の業について次のように説かれました。

チャッターリマーニ プンナ カンマーニ マヤー サヤン アビンニヤー
“**Cattārimāni, puṇṇa, kammāni mayā sayam abhiññā**
サッチカトヴァ バヴェディターニ カタマーニ チャッターリ アティ プンナ
sacchikatvā paviditāni. Katamāni cattāri? Atthi, puṇṇa,
カンマン カンハン カンハヴィカーカン アティ プンナ
kammaṃ kaṇhaṃ kaṇhavipākaṃ; atthi, puṇṇa,
カンマン スッカカン スッカヴィパーカン アティ プンナ カンマン
kammaṃ sukkaṃ sukkavipākaṃ; atthi, puṇṇa, kammaṃ
カンハスッカカン カンハスッカヴィパーカン アティ プンナ
kaṇhasukkaṃ kaṇhasukkavipākaṃ; atthi, puṇṇa,
カンマン アカンハン アスッカカン アカンハアスッカヴィパーカン
kammaṃ akaṇhaṃ asukkaṃ akaṇhaasukkavipākaṃ,
カンマッカヤーヤ サンヴァッタティ
kammakkhayāya saṃvattati .

ブンナよ、これらの四つの、私が自ら証知した業について説きます。ブンナよ、それらの四つとは、黒い結果を出す黒い業があります。白い結果を出す白い業があります。黒白の結果を出す黒白の業があります。黒でもない白でもない結果を出す黒でもない白でもない業があります。それらは業の滅尽へと導きます。

(MN2-52)

お釈迦様は黒白の業などとして4種類の業と業の結果についてブンナとセーニヤに説かれました。二人は今まで正しく教えてくれる師が無く間違った修行をしていま

したがお釈迦様に業と業の結果について教えていただき喜びました。プンナは仏法僧に帰依しました。セーニヤはお釈迦様の弟子になりたいと申し出をしましたが、今まで長い間間違った修行をしてきた行者なのですぐにはお釈迦様の元での出家を認めず、4か月間比丘たちとは別に住んだのちに判断をして出家を認めることにされました。セーニヤは「お釈迦様の元で出家できるのならば四年間でも待ちます。」と答えました。後にセーニヤは出家が認められ1人で離れて住み熱心に修行に励みました。そしてアラハンになることができました。

お釈迦様はプンナとセーニヤにアクサラ、クサラ、キリヤチッタについて説かれました。

黒いカンマとはアクサラカンマを指します。パーナーティパータ（殺生）やアディンナーダーナ（偷盗）など五戒を破る行為はアクサラです。十種類のドゥッチャリタ（Duccarita,悪行）を日々犯していたら黒いアクサラカンマを作ってしまいます。このような行為をしていた人は黒い結果つまり悪い結果を生むことになります。人間として生まれても苦しみの多い世界、あるいは四悪趣界に生まれることになります。

白いカンマとはクサラカンマを指します。日々、五戒を守ったり、慈悲の心で人と話をしたり考えてあげたりすることはクサラの行為です。十種類のスッチャリタ（Succarita,善行）や十種類のクサラカンマパタ（Kusala-

kammapatha,善業道) を日々の暮らしで行っていると、白いカンマ、クサラカンマを作っていることになり、白い結果つまり善い結果を生むことになり、来世は人間として生まれたら幸福な人生を送ることができ、六つの天界あるいは梵天界に生まれることもできます。

黒白と混ざり合ったカンマの場合は五戒を守っていても、時には五戒を破ったり、時には欲や怒りによる悪いことをしてしまったり、時には慈悲の心で他人と接したり、と黒いカンマと白いカンマを交互に作っている場合です。この場合はどちらのカンマでも熟したら結果を出しますから、アクサラの結果もクサラの結果も双方の結果を受けることになります。

黒でもない、白でもないカンマとはキリヤチッタ (Kiriyaçitta,唯作心) のことを指します。結果を生じることはありません。このキリヤチッタはアラハンのみ作ることができます。どんな行為であれ、黒い結果も白い結果も生じることはありません。アラハンが過去で作ったカンマは全てアホシカンマとなります。キリヤチッタはアビヤーカタチッタ (Abyākataçitta,無記心) ともいいます。

以上が犬行者経のカンマについての法話の説明です。

***私たちの智慧ではどちらのカンマの影響をいつ受けるのかわかりません。ですからアクサラカンマの結果を出さないようにするためには、毎日毎日、善いカンマ

を作り続けるように努力をしてクサラカンマが熟して結果を出すようにしなければなりません。せっかくクサラの結果として人間として生を受けても、悪い行為をしていると過去のアクサラカンマが熟してしまう可能性が高くなります。類は友を呼ぶのです。お釈迦様の教えに出会っている今、なるべく沢山の時間にクサラカンマを作るために努力してください。日々、サティ (Sati) 気づきを持って行動してください。スマナ***

お釈迦様はまたクサラアクサラカンマの結実を過去世、現世、来世の三世に分けて説明されています。増支部経と無碍解道では以下のように 12 種類に分類しています。

- (1) アホシカンマンアホシカンマヴィパーコ (**Ahosi kammaṃ ahosi kamma vipāko**, 既有業既有業異熟) : 過去世で作り過去世で結実したカンマ。
- (2) アホシカンマンナーホシカンヴィパーコ (**Ahosi kammaṃ nāhosi kamma vipāko**, 既有業無既有業異熟) : 過去世で作り過去世で結実しなかったカンマ。
- (3) アホシカンマンアティカンマヴィパーコ (**Ahosi kammaṃ atthikamma vipāko**, 既有業有業異熟) : 過去世で作り現世で結実するカンマ。
- (4) アホシカンマンナティカンマヴィパーコ (**Ahosi kammaṃ natthikamma vipāko**, 既有業無業異熟) : 過去世で作り現世で結実しないカンマ。

- (5) アホシカンマンバヴィサティカンマヴィパーコ
 (Ahosi kammaṃ bhavissati kamma vipāko, 既有業
 未来存在業異熟) : 過去世で作り来世に結実するカ
 ンマ。
- (6) アホシカンマンナバヴィサティカンマヴィパーコ
 (Ahosi kammaṃ nabhavissati kamma vipāko, 既有
 業無未来存在業異熟) : 過去世で作り来世で結実し
 ないカンマ。
- (7) アティカンマンアティカンマヴィパーコ (Atthi
 kammaṃ atthi kamma vipāko, 有業有業異熟) : 現世
 で作り現世で結実するカンマ。
- (8) アティカンマンナーティカンマヴィパーコ (atthi
 kammaṃ nātthi kamma vipāko, 有業無業異熟) : 現
 世で作り現世で結実しないカンマ。
- (9) アティカンマンバヴィサティカンマヴィパーコ
 (Atthi kammaṃ bhavissati kamma vipāko, 有業未来
 存在業異熟) : 現世で作り来世で結実するカンマ。
- (10) アティカンマンナーバヴィサティカンマヴィパ
 ーコ (Atthi kammaṃ nābhavissati kamma vipāko,
 有業無未来存在業異熟) : 現世で作り来世で結実し
 ないカンマ。
- (11) バヴァサティカンマンバヴィサティカンマヴィ
 パーコ (Bhavassati kammaṃ bhavissati kamma
 vipāko 有業未来存在業異熟) : 来世で作り来世で結
 実するカンマ。

(12) バヴァサティカンマンナービヴァサティカンマ
 ヴィパーコ (bhavassati kammaṃ nābhivassati
 kamma vipāko, 有業無未来存在業異熟) : 来世で作
 り来世で結実しないカンマ。
 以上でカンマベータの説明を終わります。

第三章 カンマとサンパティ (Sampatti, 善円満) ヴィパティ (Vipatti, 善不足) の繋がり

1) カンマとサンパティ、ヴィパティの繋がり

16 種類

サンパティとは善いことに満たされていること、ヴィ
 パティとは善いことが不足していること (悪いこと) を
 指すパーリ語です。この章ではカンマとサンパティ、ヴィ
 パティの繋がりについて説明をしていきます。

増支部経とアビダンマ註釈ではカンマとサンパティ、ヴィ
 パティの繋がり を 16 種類に分類して次のように説かれて
 います。

アテッカッチャーニ パーバカーニ カンマサマーダーナーニ ガティサンパティ
“atthekaccāni pāpakāni kammaṣamādānāni gatisampatti
 パティパーラーニ ナ ヴィパチャンティ アテッカッチャーニ パーバカーニ
paṭibāḥhāni na vipaccanti . Atthekaccāni pāpakāni
 カンマ サマーダーニ ウパディサンパティパティパーラーニ ナ
kamma ṣamādānāni upadhisampatti paṭibāḥhāni na
 ヴィパチャンティ アテッカッチャーニ パーバカーニ カンマサマーダーナーニ
vipaccanti. Atthe- kaccāni pāpakāni kammaṣamādānāni

カンマ サマーダーナーニ カーラサンパティン アーガンマ ヴィパチャンティ
kammasamādānāni kālasampattiṃ āgama vipaccanti .
 アテッカッチャーニ カルヤーナーニ カンマ サマーダーナーニ
Atthekaccāni kalyāṇāni kamma samādānāni
 パヨガサンパティン アーガンマ ヴィパチャンティ ティ
payogasampattiṃ āgama vipaccanti”ti.

- (1) **ガティサンパティパティバーラ (Gati Sampatti paṭibālha,趣善抑圧)** : 善い行先に抑えられて結実できないアクサラカンマ。
- (2) **ウパディサンパティパティバーラ (Upadhi Sampatti paṭibālha,所依善抑圧)** : 善い所依に抑えられて結実できないアクサラカンマ。
- (3) **カーラサンパティパティバーラ (Kāla sampatti paṭibālha,時期善抑圧)** : 善い時期に抑えられて結実できないアクサラカンマ。
- (4) **パヨガサンパティパティバーラ (Payoga sampatti, 行動善抑圧)** : 善い行いに抑えられて結実できないアクサラカンマ。
- (5) **ガティヴィパティアーガンマ (Gati vipattia āgama,趣善不足因)** : 悪い行先の原因により結実するアクサラカンマ。
- (6) **ウパディヴィパティアーガンマ (Upadhi vipatti āgama,所依善不足)** : 悪い所依の原因により結実するアクサラカンマ。
- (7) **カーラヴィパティアーガンマ (Kāla vipatti āgama, 時期善不足因)** : 悪い時期の原因により結

実するアクサラカンマ。

- (8) **パヨガヴィパティアーガンマ (Payoga vipatti āgamma, 行動善不足因)** : 悪い行いの原因により結実するアクサラカンマ。
- (9) **ガティヴィパティパティバーラ (Gati vipatti paṭibāḷha, 善不足趣抑圧)** : 悪い行先に抑えられて結実できないクサラカンマ。
- (10) **ウパディヴィパティパティバーラ (Upadhi vipatti paṭibāḷha, 善不足行動)** : 悪い所依により抑えられて結実できないクサラカンマ。
- (11) **カーラヴィパティパティバーラ (Kāla vipatti paṭibāḷha, 時期善不足)** : 悪い時期に抑えられて結実できないクサラカンマ。
- (12) **パヨガヴィパティパティバーラ (Payoga vipatti paṭibāḷha, 加行善不足)** : 悪い行いに抑えられて結実できないクサラカンマ。
- (13) **ガティサンパティアーガンマ (Gati sampatti āgamma, 趣善円満因)** : 善い行先の原因により結実するクサラカンマ。
- (14) **ウパディサンパティアーガンマ (Upadhi sampatti āgamma, 所依善円満因)** : 善い所依の原因により結実するクサラカンマ。
- (15) **カーラサンパティアーガンマ (Kāla Sampatti āgamma, 時期善円満因)** : 善い時期の原因により結実するクサラカンマ。

(16) **パヨガサンパティアーガンマ (Payoga Sampatti āgama, 加行善円満因)** : 善い行いの原因により結実するクサラカンマ。

(ANA2-111, ViMm.page351, No.810)

詳細説明

(1) ガティサンパティパティバーラ

ある人には過去世に多くのアクサラカンマがありました。そのアクサラカンマはガティヴィパティの時であれば結実する力があります。けれどもその人は1つのクサラカンマの原因でガティサンパティという人間界に結生しました。このように人間界に生まれることにより多くのアクサラカンマは結実することができません。ガティサンパティで抑えることによりアクサラカンマは結実できません。クサラカンマは結実することができます。

(AA2-421, ANA2-111)

(2) ウパディサンパティパティバーラ

ある人には過去世に多くのアクサラカンマがありました。ウパディヴィパティであればその結果を出すことができます。けれどもその人は1つのクサラカンマの原因によりウパディサンパティで抑えられた場合はアクサラカンマが結実することはできません。

例えばアクサラカンマで貧しく結生したとしてもウパディサンパティであれば困難な仕事よりもより良い職業に就くことができたりします。

例えとして、昔のスリランカのバティカ王の時代のお話をします。バティカ王は満月新月のウポサタの日には牛を殺してその肉を食べることを禁止する命令を出していました。しかしある人達は命令に背いてウポサタの日には牛を殺して食べていました。そのことを知った王様は命令に背いている人たちを捕まえて刑罰として王宮の庭のごみ拾いなどの清掃作業をさせていました。その清掃作業をしている人々の中に大変きれいな女性がいました。窓から庭を眺めていた王様はそのきれいな女性に目が留まり、家来に女性を呼びに行かせ、その女性を自分の妻とすることにしました。女性は貧しい生まれでしたが、美しさゆえに王様のお后になることができました。その女性の両親や家族なども女性が王妃になったことにより良い暮らしができるようになりました。このお話はウパディサンパティがアクサラカンマを抑えた例です。

(ANA2-111,AA2-421,422)

私たちの身边にもこのような話はあると思います。貧しい生まれでも容姿が普通であれば貧しい暮らしのままかもしれませんが、容姿端麗、美貌に恵まれていた場合、地位や財産のある人と結婚して幸福になるかもしれません。容姿端麗つまりウパディサンパティの原因により抑えることでアクサラカンマが結実できなくなります。

(3) カーラサンパティパティバーラ

ある人には過去世で多くのアクサラカンマがありました。そのアクサラカンマはカーラサンパティであれば結実することができます。けれどもその人がクサラカンマの原因でカーラサンパティの時に結生したらアクサラカンマは結実することができません。カーラサンパティで抑えることによりアクサラカンマは結実することができません。
(AA2-422,ANA2-111)

(4) パヨガサンパティパティバーラ

ある人には過去世に多くのアクサラカンマがありました。そのアクサラカンマはパヨガヴィパティであれば結実することができます。けれどもその人はクサラカンマで正しい努力をしてパーナーティパータなどを避けて身口意により善いことに満たされてパヨガサンパティになりました。そのパヨガサンパティで抑えることによりアクサラカンマは結実することができずクサラカンマのみ結実することができます。パヨガサンパティにより抑えられてアクサラカンマは結実することができません。
(AA2-422,ANA2-111-112)

パヨガサンパティと後述するパヨガヴィパティは人間界では大変重要になりますので後程詳しく説明します。

(5) ガティヴィパティアーガンマ

ある人には過去世で多くのアクサラカンマがありました。そのアクサラカンマはガティサンパティであれば結

実することができません。けれどもその人は1つのアクサラカンマの原因で地獄というガティヴィパティに結生しました。そのことによりアクサラカンマは結実することができます。ガティサンパティにより抑えられて結実することができないアクサラカンマはガティヴィパティの原因により結実することができます。(AA2-422,ANA2-112)

(6) ウパディヴィパティアーガンマ

ある人には過去世に多くのアクサラカンマがありました。そのアクサラカンマはウパディサンパティであれば結実することができません。けれどもその人は1つのアクサラカンマの原因でウパディヴィパティになりました。そのことによりアクサラカンマが結実することができます。

例えとしてスリランカのコータラワビ村に住んでいた資産家の奥さんの話があります。その奥さんはとても醜い容姿の女性でした。ある時、国から税金の集金人がその資産家の家にやってきました。奥さんが集金人に対応しましたが、集金人はその奥さんが醜い女性だったので、その家の奥さんだとは思わずに使用人だと思い蔑んでしまいました。例え資産家の奥さんだとしてもウパディヴィパティの原因で醜い姿であれば、奥さんと認めてもらえず使用人と間違えられてしまうことになります。例えば国王であっても醜い姿であれば国民から好ましく

思われないうちにもなります。

ウパディサンパティに抑えられて結実できないアクサラカンマはウパディヴィパティの原因で結実することができます。(AA2-422-423,ANA2-112)

(7) カーラヴィパティアーガンマ

ある人には過去世で多くのアクサラカンマがありました。そのアクサラカンマはカーラサンパティであれば結実することができません。けれどもその人は1つのアクサラカンマの原因でカーラヴィパティの時に結生しました。そのことによりアクサラカンマは結実することができます。その時にはクサラカンマは結実することができません。カーラサンパティに抑えられて結実できないアクサラカンマはカーラヴィパティの原因で結実することができます。(AA2-423,ANA2-112)

例えば今のミャンマーはカーラヴィパティと言えます。政治情勢が不安定になれば内紛が起き食料や医療が不足して病人や負傷者がたくさん出てしまいます。それはカーラヴィパティの原因によるものです。

(8) パヨガヴィパティアーガンマ

ある人には過去世で多くのアクサラカンマがありました。そのアクサラカンマはパヨガサンパティであれば結実することができません。けれどもその人は間違った努力によりパヨガヴィパティになるパーナーティパータ、アディ

ンナーダーナなどのアクサラカンマを作り、盗んだ物と共に捕まえられて罰を受けることとなります。人を殺害して盗みを働くような大きな罪を作ると死刑になることさえあります。パヨガサンパティに抑えられて結実することができないアクサラカンマはパヨガヴィパティの原因で結実することができます。(AA2-423,ANA2-112)

(9) ガティヴィパティパティバーラ

ある人には過去世で多くのクサラカンマがありました。そのクサラカンマはガティサンパティであれば結実することができます。けれどもその人は1つのアクサラカンマの原因で阿修羅、地獄というガティヴィパティに結生しました。そのことによりクサラカンマは結実することができません。アクサラカンマのみ結実することができます。ガティヴパティに抑えられてクサラカンマは結実することができません。(AA2-424,ANA2-112)

(10) ウパディヴィパティパティバーラ

ある人には過去世で多くのクサラカンマがありました。そのクサラカンマがウパディサンパティであれば結実できます。けれどもその人は1つのアクサラカンマの原因によりウパディヴィパティとなりました。そのことによりクサラカンマは結実することができません。アクサラカンマのみ結実することができます。ウパディヴィパティに抑えられてクサラカンマは結実することができません。

例えとしてスリランカの話があります。昔、スリランカがタンバディパという名前だったころ、ディパラージャという名前の王様がいました。お后様に男の子が生まれたので国を支配する後継者ができたことを喜びました。王様は喜び、お后様の願いを叶えてあげるのでは何か望むものがあるかと尋ねました。お后様は王子が成長したら答えます、と返事をしました。王子は徐々に成長しました。その王子は鳥を戦わせる闘鶏をしたりそれを観戦するのが好きでしたが、観戦中に鳥の爪で眼を指されてしまい盲目になってしまいました。やがて王子が成人となった時に、お后様は王子に国を治める王として後継ぎにするように、と王様にお願ひしました。しかし、王様は盲目の王子に国を支配することはできないだろうと国を支配することを認めずに小さな島を統治させることにしました。(AA2-425)

ウパディヴィパティに抑えられた原因によりクサラカンマが完璧に結実できなかった例です。

(11) カーラヴィパティパティバーラ

ある人には過去世で多くのクサラカンマがありました。そのクサラカンマはカーラサンパティの時であれば結実します。けれどもその人は1つのアクサラカンマの原因でカーラヴィパティの時に結生しました。そのことによりクサラカンマは結実することができません。カーラヴィパティに抑えられてクサラカンマは結実することができません。(AA2-425)

現在ミャンマーでは軍事政権下での内紛が起きています。中東の国々の紛争、ウクライナの戦争など世界のいたるところで内戦や紛争が続いています。そのような国々の状況をニュースで見ると解ると思いますが、そのような国に生まれた子供たちは不幸せでクサラカンマを作りにくい状況にあります。過去世でクサラカンマをたくさん作ってきて、人間に生まれていても、カーラヴィパティに抑えられるとクサラカンマが結果を出すことができなくなります。平和ではなく戦争などを行っているなどの環境のカーラヴィパティの原因でクサラカンマは抑えられて結果を出すことができなくなります。カーラヴィパティに抑えられて苦しみを受けてクサラカンマが結実できない例です。

(12) パヨガヴィパティパティバーラ

ある人には過去世で多くのクサラカンマがありました。そのクサラカンマは正しい努力をするパヨガサンパティであれば結実することができます。けれどもその人は間違った努力をしてパヨガヴィパティというパーナーティパータなどの五戒を守らない悪い行いをしました。そのことによりクサラカンマは結実することができません。パヨガヴィパティに抑えられてクサラカンマは結実することができません。(AA2-425)

(13) ガティサンパティアーガンマ

ある人には過去世で多くのクサラカンマがありまし

た。このクサラカンマはガティヴィパティであれば結実しません。けれどもその人は1つのクサラカンマの原因で人間界、天界というガティサンパティに結生しました。そのことによりクサラカンマは結実することができます。ガティヴィパティで抑えられて結実できないクサラカンマはガティサンパティの原因により結実することができます。(AA2-426)

(14) ウパディサンパティアーガンマ

ある人には過去世で多くのクサラカンマがありました。そのクサラカンマはウパディヴィパティであれば結実することができません。けれどもその人は1つのクサラカンマの原因によりウパディサンパティになりました。そのことによりクサラカンマは結実することができます。ウパディヴィパティに抑えられて結実できないクサラカンマはウパディサンパティの原因により結実することができます。(AA2-426,ANA2-113)

(15) カーラサンパティアーガンマ

ある人には過去世で多くのクサラカンマがありました。そのクサラカンマはカーラヴィパティであれば結実することができません。けれどもその人は1つのクサラカンマの原因によりカーラサンパティの時に結実しました。それによりクサラカンマが結実できました。カーラヴィパティに抑えられて結実できないクサラカンマはカ

ーラサンパティの原因により結実することができます。

(AA2-426)

例えとして、昔スリランカにブラマナティッサという強盗団が猛威を振るっていた時のお話をします。強盗団は残虐で人殺しをして物を盗んでいました。その強盗団の悪事が拡大して王様でも抑えることができなくなり村人たちは家を捨てて村から逃げ出すようになりました。そのような状況で比丘たちが村に托鉢に訪れても食事を施す村人もいなくて比丘たちは托鉢してもまともな食事のお布施を受けられません。村人たちは自分たちの食べ物もない状況の中、木の葉や皮や根っこなどを料理して食事を差し上げていました。そのような悲惨な状況がしばらく続いた後にピトゥマハーラジャという名前の王様が現れて、ブラフマティッサ強盗団の征伐に取り掛かり強盗団を退治しました。その後、国は安定し比丘たちは平和に托鉢ができるようになり食事や四資具のお布施も受けられるようになりました。その苦しい時期に托鉢していた沙弥の中に後にマハーソーナテラと呼ばれる沙弥がいました。その沙弥も食べるものも無く苦しみの中で修行をしていました。王様が強盗団を征伐して国が安定し、人々が再び食事のお布施ができるようになった時、マハーソーナテラは立派な比丘となり、アラハンではないかと言われて多くのお布施が集まりました。強盗団がいた時はカーラヴィパティで人々は貧しく食事のお布施も受けられませんでした。が権力のある善い王様が

現れて国が安定した時には食事や四資具がたくさん集まりました。カーラヴィパティの時はたとえ多くのクサラカンマがある人でさえ食べ物にも困るような苦しみを受けます。しかしカーラサンパティとなった時にマハーソーナテラ多くのクサラカンマが結実して多くの食べ物、四資具が集まりました。(AA2-426-430)

同じ時期に同じ経験をしたワータバツガニローダテラと言う比丘もいました。この比丘もアラハンと呼ばれています。(AA2-430-432)

(16) パヨガサンパティアーガンマ

ある人には過去世で多くのクサラカンマがありました。そのクサラカンマは間違った努力をするパヨガヴィパティであれば結実しません。けれどもその人は1つのクサラカンマの原因により正しい努力をして、五戒を守るようになりパヨガサンパティになりました。そのことによりクサラカンマが結実することができます。パヨガヴィパティに抑えられて結実できないクサラカンマはパヨガサンパティの原因により結実することができます。

(AA2-433)

以上でアビダンマ註釈に於けるカンマとサンパティ、ヴィパティの繋がり 16 種類の分類の説明を終わります。

2) 4種類のサンパティと4種類のヴィパティ

サンパティとは善にみたされていること、幸福である

ことを言います。ヴィパティとは善が不足していること、つまり悪いことを言います。

全ての生きものは過去世でたくさんのクサラカンマ、アクサラカンマを作ってきました。それらは熟していなければ結実しません。熟して結実することを待っているような状態です。結実する時にサンパティであればクサラカンマが結果を出します。ヴィパティであればアクサラカンマが結果を出します。

サンパティ 4 種類

- (1) **ガティサンパティ**：人間界、天界、梵天界の善い界のことを言います。これらの界ではクサラカンマが結実する機会が増えます。
- (2) **ウパディサンパティ**：美しい身体、五体満足の身体で満たされていることを言います。
- (3) **カーラサンパティ**：ブッダの現れている時期、仏法がある時期、輪転王が現れた時期、良い国王、大統領、政治家がなどの平和な時期を言います。
- (4) **パヨガサンパティ**：五戒を守ること。気づき、努力、智慧などを備えた善い環境が揃っていることを言います。

ヴィパティ 4 種類

- (1) **ガティヴィパティ**：阿修羅、餓鬼、畜生、地獄の四悪趣界のことを言います。これらの界ではアクサラカンマが結実する機会が増えます。

- (2) **ウパディヴィパティ**：醜くい身体、五体満足ではない身体を言います。
- (3) **カーラヴィパティ**：ブッダが現れていない時期、仏法の無い時期、輪転王が現れていない時期、悪政をする国王、大統領、政治家がいるなど平和ではない時期を言います。
- (4) **パヨガヴィパティ**：五戒を守らないこと。気づき努力、智慧などを備えず、備わっていたとしても弱く、悪い環境に陥ることを言います。

詳細説明

サンパティ (1) ガティサンパティ

あるクサラカンマの原因により人間界、天界、梵天界に結実することができます。これらの界に生まれた時にはクサラカンマが結果を出すことができます。しかし、それぞれの界によりクサラカンマの結実の機会に大きな違いがあります。人間界ではアクサラカンマの結実する機会がありますが天界、梵天界ではアクサラカンマの結実は稀になります。人間界ではクサラカンマの結実の機会があるものの、いろいろな事情によりアクサラカンマが結実する機会も出てきます。人間界では生きていくため住居や食べ物を得る為に一生懸命に働かなければなりません。働くことにより欲や怒りがでてアクサラカンマの結果が出やすくなってしまいます。天界においては、住居や食事の心配が無く、努力して働く必要が無いのでアクサラカンマが結実しにくくなります。天界はすべて

過去のカンマによりでき上っています。梵天界は禅定により生きている界なので天界よりもアクサラカンマが結実しなくなります。例えば第一禅定の梵天界では第一禅定に入定してピーティ（Pīti,喜）の力で生きています。梵天界では六門ではなく、眼門、耳門、意門の三門のみあります。食べものを食べる必要もありません。ブッダを礼拝する眼や仏法を聞くことのできる耳があるのみです。人間界、天界よりもアクサラの結実の機会が少なくなります。

ヴィパティ（1）ガティヴィパティ

あるアクサラカンマの原因により阿修羅、餓鬼、畜生、地獄の四悪趣に生まれます。これらの界ではアクサラカンマの結実する機会が多くなりクサラカンマの結実する機会が少なくなります。しかし、畜生界ではクサラカンマの結実する機会もあります。畜生界は弱肉強食の世界で強いものが弱いものを殺して食べるというアクサラカンマを作っています。しかし子供たちが小さなころは自分の子供に食べ物を与えたり守ったりしています。そのような時にはクサラカンマが結果を出すこともあります。小さな虫ほど人間などに踏まれたり危険が多くなりますが、それらの危険は過去で作ったアクサラカンマが結果を出したことによるものです。餓鬼界では食べ物を食べたくても食べられず、のどが渴いても飲み物を飲めず、醜い姿で人間の吐いた痰などを食べたりします。

アクサラカンマの結実の機会が多くなります。地獄界ではさらに身体を鉄で傷めつけられたり火で燃やされたり長い期間、苦しめられます。畜生界に比べて餓鬼界や地獄はクサラカンマの結実の機会はたいへん少なく、あるいはまったく無くなってしまいます。

サンパティ（2）ウパディサンパティ

もしも、あるクサラカンマの原因により人間界に結生した場合にウパディサンパティであれば五体満足な美しい姿で生まれます。あるクサラカンマの原因で貧困層や乞食に生まれたとしてもウパディサンパティで美しい姿であれば裕福な人と結婚したり仕事で成功したりできます。前例の話のように貧しい家に生まれても王妃となることが出来ます。畜生界に生まれても美しい動物に生まれたら裕福な家のペットとして飼われる場合もあります。それらはウパディサンパティによるものです。

ヴィパティ（2）ウパディヴィパティ

あるクサラカンマにより人間として結生してもウパディヴィパティであれば別のクサラカンマにより醜く障害のある身体で生まれます。前例にあるように財産家の奥さんであっても醜いことにより使用人として扱われたりしてしまいます。

例えとして、ダンマパダにクサ王とパパウディ王妃のお話があります。お釈迦様が菩薩の時、過去のアクサラ

カンマの原因でクサ王という醜い王様として生まれました。パパワディはたいへん美しい女性でした。二人の過去世をみると、二人は兄妹として暮らしていました。ある日、パチェカブツダ（Pacceka buddha, 辟支仏）がその家の前に托鉢に来たのでパパワディになる女性である妹がバターライスをしあげました。バターライスを鉢に入れている時にクサ王になる男性が森から家に戻ってきました。そのバターライスは男性の食べるためのものでした。自分の食べる分のバターライスが無いことを知った兄は怒りによりバターライスを鉢から取り返しました。妹は他にしあげるものがあるか台所を探して、バターがあったので家にあるバター全部を鉢に入れました。その時に今後生まれ変わった時にこのバターのように光りつやつやと美しく生まれますように、醜く生まれなないように、と願いながらしあげました。それを聞いた兄は取り返したバターライスを鉢に戻しました。その時に兄は生まれ変わった時にこの妹が自分の妻となるように、と願いながらしあげました。食事のお布施はクサラカンマを作りますが怒りがあったのでアクサラカンマも作りました。クサラカンマにより王家に生まれましたが怒りのカンマもあったので醜い姿となりました。同じ時期に妹の方は裕福な家庭に美しい姿で生まれました。クサ王は最もきれいな女性をお后とするために国中を探してパパワディを見つけました。パパワディは醜いクサ王と結婚したくありませんでしたが王様の権力により結

婚されられてしまいました。しかし二人は結婚後、顔を合わせることはありませんでした。

この菩薩の話はウパディヴィパティの例です。

サンパティ（3）カーラサンパティ

ブッダが現れている時、仏法が栄えている時、輪転王、国をよく治める王や政治家がいる時など、人々が平和で幸福に暮らせる善い時期がカーラサンパティです。このような時期は善い環境となりクサラカンマの結果が出やすくなります。この時期には熟してきたアクサラカンマがあったとしても結実する機会はありません。結実する機会があってもそれ程の影響はありません。

ヴィパティ（3）カーラヴィパティ

ブッダが現れていない時、仏法が栄えていない時、輪転王、よい国王や政治家がいない時など、人々が不幸せな暮らしをしている時期がカーラヴィパティです。カーラヴィパティには戦争なども起き、まともに仕事をして普通に暮らすことさえできなくなります。戦争が起きると食料もない、医者にも行けない薬もない、戦火の中を逃げまどわなければならない、などなど不幸が重なるとアクサラカンマが結実し易くなります。この時期には熟してきたクサラカンマがあったとしても結実する機会はありません。結実する機会があってもそれ程の効果はありません。

サンパティ（４）パヨガサンパティ

気づき、努力、智慧があり五戒などの戒律を守り整って生活していると環境がよくなりパヨガサンパティとなります。クサラカンマが結実し易くなります。戒律を守っているとクサラな気持ちになりクサラカンマの結果を出す機会を作ることになります。相手のことを慈悲の心で考える、慈悲の心で話をするなどの行動もクサラカンマの結果を出やすくします。気づき、努力、智慧をしっかりと持って考え行動すると仕事などでも失敗が少なくなり善い結果を出すことができます。過去に作ってきたクサラカンマが熟して結実し易くなるのです。

クサラカンマの結実により人間界、天界、梵天界に生まれますが、それぞれの界では生きものの暮らしに違いがあります。

人間界と天界では天界に結生したクサラカンマの方が力の強いカンマです。パヴァティのクサラカンマも天界の方が強いカンマとなります。天界では全て過去のカンマによりできているので、住居、食料を得る為に働く必要もありません。天界に生まれたらお城のような住まいがすでにできています。そのお城はカンマの強さにより、金のお城、銀のお城、宝石のお城などが出来上がっています。食事をする必要が無く、「食べたい」と思うとお腹がいっぱいになります。天界の生きものはそのように暮らしています。天界はカンマパルパジーヴィ

(Kamma phalupajīvī) といい過去のカンマの結果を頼り生

き続けます。天界では過去のカンマが大きく影響をしています。

梵天界では食べ物を食べる必要もなく禅定のピティの力で生き続けます。パッサアーハーラ (Phassāhāra, 触食) チッタアーハーラ (cittāhāra, 心食) ヴィンニャーナアーハーラ (viññāṇāhāra, 識食) などで生きています。天界よりもカンマの力は強くなります。

人間界はカンマパルパジーヴィではありません。カンマの力だけで生きている界ではありません。気づき、努力、智慧、持戒、環境などの影響を受けて生きる界です。人間界はウッターナパルパジーヴィ (Uṭṭhāna phalupajīvī, 努力の結果で生きる) という界です。ですから、たとえば過去に作ったクサラカンマの結果として裕福な家庭に生まれたとしても、働かず、考えず、努力もせずに生きたなら財産を失ってしまいます。

ヴィパティ (4) パヨガヴィパティ

五戒を守らない、気づきが無い、努力をしない、智慧が無い、という悪い環境になっていることをいいます。例えば、誰かにイッサ (Issā, 嫉妬) やマッチャリヤ (Macchhariya, 物惜しみ) をしたり、ドサ (Dosa, 瞋恚)、マーナ (Māna, 慢) が多くあることは、成功したり善いことになるすべてを邪魔するパヨガヴィパティです。そしてパヨガヴィパティになると小さなアクサラカンマでも結実する機会となります。

ミャンマーの小学校の授業で習う経典からお話をします。マハーダナというある裕福な家庭に生まれて夫婦になった人たちの話です。

彼らの両親はともに資産家でした。今で言えば億万長者ほどの財産を持っていました。夫婦の親同士は知り合いです。それぞれの家に息子と娘が生まれたので、親たちは、大きくなった時に二人を結婚させることに決めました。それぞれの財産を二人に相続させることにしました。二人には使い切れないほどの財産があるので、勉強をさせると疲れてしまうだろうから勉強はさせなくてもいいだろう、仕事をするのも大変だから仕事をしなくてもいいだろう、それでも一生財産に困ることはないだろう、と考え勉強もさせず働くこともさせませんでした。そのように育った二人には智慧がありません。子供も授かりませんでした。二人の周りには彼らの財産を狙って悪人が集まり彼らの財産を食い物にしたので、やがて彼らの財産はすべてなくなってしまい、家もなく、食料もなく、友人もいなくなってしまい、結局その夫婦は年老いて乞食になってしまいサーバッティの町で乞食をしていました。ある日、二人は祇園精舎にたどり着きました。そこにはお釈迦様が滞在されていたので食べ物があふれていました。二人は祇園精舎の近くの木の下に住み乞食をして暮らしました。最終的に二人は乞食をしながら死んでいきました。

二人とも過去のクサラカンマにより裕福な家に生まれ

ましたが、智慧や努力が足りなかったことによりパヨガヴィパティとなってしまったお話です。

人間界でもカンマは重要です。過去に作った自分のカンマは無くすことはできません。しかし、カンマだけで生きている界ではありません。人間界では気づき、努力、智慧を備えることがとても大切なことなのです。スッチャリタ (Sucarita, 善行) 十種類を努力により行わなければなりません。全てのカンマは自分自身で作るものです。他人から与えられるものではありません。より良い来世を迎えたいと思うならば、今世で五戒を守り、気づき、努力、智慧の力を強くして生きなければなりません。たとえ今世で貧しい暮らしだったとしても自分の努力次第で変えることができる機会が生まれます。もし今世で叶わなかったとしても今世で善いカルマを作り続けたなら来世にそのカルマの結果が出る可能性があります。善いカルマを作るためにはパヨガサンパティになるように気づき、努力、智慧を持ち戒律を守り十善業を行うよう自分で環境を整えればいいのです。

人間界はウッターナパルパジーヴィと言うように努力の結果で生きる界であり、カンマだけで成り立っている界ではない、とお釈迦様は説かれています。パヨガサンパティがとても大切なことを知らず、カンマのせいにしてしまい、過去のカンマだけを信じていることはプベーカーカタカンマワーダ (Pubbekata kamma vāda, 宿作業論)

となります。このワーダはディッティ (Ditthi, 邪見) となるので気を付けなければなりません。このディッティについては増支部経典三法集ティッターヤタナスッタ

(Mm. Page 174)、増支部経註釈 (ANA 155) などに説明があります。

この過去のカンマだけで現在がある、と信じるプッペーカタヘトゥワーダは大きなディッティではありませんが間違った悪い見かたです。

人として生きている間は、今行っている行為がとても大事なこととなります。戒律を守り、気づき、努力、智慧を備えてより善い環境を作らなければなりません。

3) 過去世のカンマと現世のカンマの繋がり

過去世で作ったカンマは現世で作るカンマとどのように繋がっているのでしょうか。

以下のように過去世には3つのカンマがあり、現世にも3つのカンマがあります。

過去世の3つのカンマ

マハントカンマ (Mahanta kamma, 大カンマ) : 大きな影響を及ぼすカンマ。

マジマカンマ (Majjhima kamma, 中カンマ) : 中位の影響を及ぼすカンマ。

アッパカカンマ (Appaka kamma, 少カンマ) : 少ない影響を及ぼすカンマ。

現世の3つのカンマ

ヴウディバーギヤカンマ (Vuddhibhāgiya kamma) : 増大するカンマ。

ティティバーギヤカンマ (Ṭhitibhāgiya kamma) : 留まるカンマ。

ハーナバーギヤカンマ (Hānabhāgiya kamma) : 減少するカンマ。

それぞれクサラとアクサラがあります。

過去世でマハンタクサラカンマがあり、裕福な家庭に人間として生まれた場合、ヴウディバーギヤカンマが支えたら財産が増え、ティティバーギヤカンマが支えたら財産の増減はなくそのまま、ハーナバーギヤカンマが支えたら財産は減ってしまいます。

過去世のマジマクサラカンマにより、裕福でもなく貧しくもない家庭に生まれた場合、ヴウディバーギヤカンマが支えると裕福になり、ティティバーギヤカンマが支えると裕福でもなく貧しくもない暮らしのまま、ハーナバーギヤカンマが支えると貧しくなってしまいます。

過去世のアッパカカンマにより貧しい家庭に生まれた場合、ヴウディバーギヤカンマが支えると裕福になる可能性があり、ティティバーギヤカンマが支えると貧しいまま、ハーナバーギヤカンマが支えると命さえ無くすることもあります。

過去世のアクサラカンマで生まれた場合も現世のカンマは同じように作用します。ヴウディバーギヤカンマを

作るとアクサラが増大しティティバーギヤカンマを作ると留まり、ハーナバーギヤカンマを作ると減少します。

過去世の3つのカンマは変えることはできませんが、現世の3つのカンマは過去世に作ったカンマに大きな影響、中位の影響、少ない影響を与えることができます。現在作るカンマ3つの影響とはヴィリヤサーダナターナ（Viriyasāadhanathāna, 努力成就因）という努力に満たされた原因とパンニャーサーダナターナ（paññāsāadhanathāna, 智慧成就因）智慧に満たされた原因の影響のことです。

パヨガサンパティとは現世でクサラカンマを作ることの意味します。五戒などの戒律を守る、クサラカンマパタ（Kusala kammapatha, 善業道）の十種類を行うことに励み、気づき、努力、智慧などをよく備えることにより現世でヴェディバーギヤカンマという大きなクサラカンマを作ることができます。それらの行為が少ないとティティバーギヤカンマを作ることになり、それらの行為が無ければハーナバーギヤカンマとなります。

ある二人の友人のお話をします。一人は悪い仕事をしていました。これはパヨガヴィパティになります。しかし裕福な暮らしをしていました。もう一人は良い仕事をして五戒を守っていました。しかし貧しい暮らしをしていました。二人はカンマについて話をしました。

「あなたは五戒を守ってよい仕事をしているのに貧しい。私は悪いことをして五戒を守らない暮らしをしてい

でも裕福です。カンマはそれほどの影響はないのではな
かろうか。」「二人で話をしても解決しないので山に
住んでいる阿羅漢に聞きに行くことにしましょう。」と、
二人で阿羅漢に会いに行くために山に登って行きました
が、途中の険しい道で二人とも転げ落ちてしまいました
た。悪い方の方は木の茂みの上に落ちました。そして茂
みの下に隠されていた金の入った壺を見つけました。良
い仕事をしている方は地面に落ちて腕が折れてしまいま
した。悪い方の方は言いました。「カンマの影響はありま
せん。私は金の壺を見つけることができました。しかし
良い仕事をしているあなたは腕を折ってしまいました。」
山に住んでいる神通力を持っている阿羅漢は彼らの話を
聞いて彼らの前にやってきました。そしてどうしてここ
に来たのかと尋ねました。

「カンマについて聞きに来ました。悪い仕事をしている
私は裕福で良い仕事をしている友は貧しい暮らしをして
います。カンマの原因と結果は本当にあるのでしょうか。」と悪い人が聞き阿羅漢が答えました。

「あなたは過去五十世ほど、善いことをずっと行ってい
ました。その善いカンマが大きいので現世で裕福な暮ら
しをしています。そのクサラカンマがとても大きいので
山道で転がり落ちて金も金の壺を見つけることができたの
です。もしもあなたが現世でもっと良い仕事をしていた
なら、もっと良いことが起きるでしょう。」

良い仕事をしている方に阿羅漢が言いました。

「あなたは過去五十世ほど悪いことばかり行っていました。過去のアクサラカンマが強すぎて現世でよい行いをしても貧しい暮らしをしています。もしもあなたが現世で悪いことをしたならすでに命はなかったでしょう。死んでしまっているでしょう。あなたは現世に良いことを行ったのでアクサラカンマを抑えることができ腕を折るぐらいで済みました。」

このお話から分かるように、カンマはいつ作ったカンマだとしても熟したら結実します。何百世、何千世の過去世で作ったカンマでも熟したら影響がでます。過去のカンマは重要ですが、現在作っている善いカンマつまり五戒を守る、気づき、努力、智慧を備えることにより過去のアクサラカンマを抑えることができるのです。

パヨガサンパティとパヨガヴィパティはこのようにカンマに影響を及ぼして繋がります。

4) どのように過去世のカンマが現世の因となるのか

中部經典の小業分別經（別名スバ經）とその註釈からのお話です。

お釈迦様がサーヴァティという町のジェタワナ僧院（祇園精舎）に滞在されている時にスバという名前の青年にお話をしました。

スバ青年にはトデヤという名前の父親がいました。父

親はブラフマー（婆羅門）で邪見を持っていました。カンマの原因と結果を信じず、人に施しをすることは良くないと思っていて、裕福でしたがとても物惜しみをする人でした。息子にも、「人に金銭を与えてはならない、人に与えると財産が減ってしまうのでお布施などはすべきではない。」と教えていました。「白アリが巣をつくるために少しずつ土を溜めるに、自分のお金は貯めなければならない。口紅やアイシャドウは使うと減ってしまう。自分で築いた財産も人に与えれば口紅やアイシャドウと同じように減ってしまうので、財産は人に与えてはならない。」このように息子に教えていましたから、彼らはジェタワナ僧院の近くに住んでいましたが一度もお布施に行くことはありませんでした。ある時お釈迦様たちがスバ青年の家の前に托鉢に来た時、父親はスバ青年に「この坊主頭の人を見てください、働きたくないので乞食のように人の食べ物を取りに来ています。食事を与える必要はありません。」と酷いことを言い、お釈迦様たちに立ち去るように言いました。

時が経ちその父親は亡くなりました。死後犬として生まれ変わりスバ青年の家で飼われました。スバ青年と犬は前世で親子として近い間柄だったので、スバ青年はその犬を見た瞬間に大好きになり、いい餌を与えて可愛がりました。ある日、スバ青年の家にまたお釈迦様が托鉢に来られました。犬は父親だった時、お釈迦様を悪く思っていたので、犬となっているその時もお釈迦様を見て

吠えました。お釈迦様が犬に「あなたは人間だった時も私のことを悪く言いました。犬になってからも私に向かって吠えるのですか。」と言うと、犬は自分が父親だったことを解りその後、家の良いベッドで寝ることを止めて外で泥だらけで眠り餌も食べなくなってしまいました。そこで、スバ青年は僧院のお釈迦様を訪ねて、托鉢の時に犬に言ったことは本当か、もしそれが嘘ならば、サーヴァティのまちの人々に、ゴータマ（婆羅門は慢心が強くお釈迦様のことをこのように呼び捨てにします。）は嘘をついた、と言おう、もしそれが本当なら父親が隠した金の入った壺の隠し場所を示すように尋ねよう、と思いました。そしてお釈迦様に「ゴータマ、あなたが家に来て犬に向かって話をしてから犬の様子が変わってしまいました。あなたは犬を父親だと言いましたが、犬は本当に父親だったのでしょうか。」と尋ねました。「犬が父親だったという、どんな証拠があるのでしょうか。」お釈迦様は「あなたの父親はあなたに教えなかった財産があるでしょう。あなたはその財産が欲しいですか。財産が欲しければ犬によい餌を与えて良いベッドに寝かせてください。そして犬が寝始めた時に起こして、犬に財産を隠した場所を聞いてみてください。そのようにしたら犬はあなたに財産のある場所を教えるでしょう。」と言いました。スバ青年は家に戻り、お釈迦様に言われた通りにして犬が寝始めた時に壺の在りかを聞いてみました。（お釈迦様は神通力を使って犬をコントロールしてい

たのかもしれませんが。) 犬は壺を埋めた場所までスバ青年を案内して前足で示しました。スバ青年がその場所を掘ってみると金が入った壺がありました。犬は隠しておいた財産を知られてしまい怒りと悲しみにより死んでしまいましたが、お釈迦様の悪口を言ったことや怒りにより死後は地獄に生まれ変わりました。スバ青年は翌日、お釈迦様の所に行きお釈迦様を絶賛しました。

婆羅門は人相や手相を見ることができる知識を持っているので、スバ青年はお釈迦様にお会いした時に、お釈迦様が相当智慧のある人だと解っていました。しかし婆羅門は慢心が強いのでお釈迦様をゴータマと呼び捨てにします。「ゴータマよ、財産は見つかりました。しかし私は知りたいことがあります。どのような原因により人に生まれた生きものにもろもろの優劣があるのでしょうか。」と、自分の知りたかったことをお釈迦様に質問をすることにしました。それらは7つの事柄についてそれぞれ2つずつ14種類ありました。

- 1) ある人は長寿。
- 2) ある人は短命。
- 3) ある人は病気がち。
- 4) ある人は健康。
- 5) ある人は醜い。
- 6) ある人は美しい。
- 7) ある人は権威がない。
- 8) ある人は権威がある。

- 9) ある人は貧しい。
- 10) ある人は裕福。
- 11) ある人は低い家系。
- 12) ある人は高い家系。
- 13) ある人は智慧がない。
- 14) ある人は智慧がある。

お釈迦様は婆羅門たちをよく理解していました。彼らは慢心が強いので、もしすべてを説明したら、ゴータマの言ったことは解っていた、と慢心で思ってしまうだろうと思い短くお答えになりました。

「青年よ、生きものたちはカンマを自分のものとして、カンマの相続人として、カンマを原因として、カンマを結びつきとして、カンマを拠り所としています。」

このお釈迦様のお答えは簡略でスバ青年には理解できなかったもので、理解できるように詳しく説明するように、と慢心を落としてお釈迦様にお尋ねしました。

お釈迦様はお答えになりました。

- 1) ある人はパーナーティパータをしていました。その人の手は殺生した生きものの血で汚れ哀れみはありません。そのカンマにより悪趣界に生まれ変わります。もしも人間界に生まれたら短命になります。
- 2) ある人はパーナーティパータをせずその人の手は生きものの血で汚れず哀れみにより生き物を助けます。そのカンマによりその人は天界に生まれ変わります。もしも人間界に生まれたら長寿を得ます。

3) ある人は拳や剣によって生き物を傷めつけたり、拷問、虐待をしたりします。その人はそのカンマにより悪趣界に生まれ変わります。もしも人間界に生まれたら病気がちになります。

4) ある人は拳や剣により生き物を傷めつけたり、拷問、虐待をせずにいました。その人はそのカンマにより天界に生まれ変わります。もしも人間界に生まれたら健康な人となります。

5) ある人は怒りが強くすぐに些細なことを言われただけで機嫌を損ね怒りを出したり頑なになります。その人はそのカンマにより悪趣界に生まれ変わります。もしも人間界に生まれたら醜い人となります。

6) ある人は怒りが無く多くを言われても機嫌を損ねることなく不満もなく頑なな態度にもなりません。その人はそのカンマにより天界に生まれ変わります。もしも人間界に生まれたら美しい人になります。

7) ある人は嫉妬心が強く、尊敬される人、礼拝される人などを見て妬んだり憎んだりしました。その人はそのカンマにより悪趣界に生まれ変わります。もしも人間界に生まれたら権威が無く信奉者のいない人になります。

8) ある人は嫉妬心が無く、尊敬される人、礼拝される人などを見て妬んだり憎んだりしません。その人はそのカンマにより天界に生まれ変わります。もしも人間界に生まれたら権威があり、信奉者の多い人になります。

9) ある人はサマナ (Samaṇa, 沙門) あるいはブラーフマ

(Brāhma,婆羅門)などに食事や住居などのお布施をしませんでした。その人はそのカンマにより悪趣界に生まれ変わります。もしも人間界に生まれたら貧しい人になります。

10) ある人はサマナ (Samaṇa,沙門)あるいはブラーフマ (Brāhma,婆羅門)などに食事や住居などのお布施をしました。その人はそのカンマにより天界に生まれ変わります。もしも人間界に生まれたら裕福な人になります。

11) ある人は強情で慢心があり礼拝されるべき人を礼拝せず尊重されるべき人を尊重しませんでした。その人はそのカンマにより悪趣界に生まれ変わりました。もしも人間界に生まれても低い家系の人になります。

12) ある人は強情ではなく慢心も弱く礼拝されるべき人を礼拝し尊重されるべき人を尊重していました。その人はそのカンマにより天界に生まれ変わりました。もしも人間界に生まれたら高い家系に生まれます。

13) ある人はサマナ、バラモンあるいは智慧の高い人の所に行き「何がアクサラで何がクサラなのか。何が罪のあるもので何が罪のないものか。何が利益となり何が不利益となるのか。」などと質問をしません。その人はそのカンマにより悪趣界に生まれ変わります。もしも人間界に生まれたら智慧の少ない人になります。

14) ある人はサマナ、バラモンあるいは智慧の高い人の所に行き「何がアクサラで何がクサラなのか。何が罪のあるもので何が罪のないものか。何が利益となり何が

不利益となるのか。」などを質問をします。その人はそのカンマにより天界に生まれ変わります。もしも人間界に生まれたら智慧の高い人になります。

スバ青年はお釈迦様からこれらの教えを聞いて大変喜びました。そして「私はこれから仏法僧に帰依いたします。」と申し上げて、お釈迦様の信者となりました。

(MN2-243,MNA2-243)

この経典は過去世のどのようなカンマが現世の因となるのかを説明しています。

仏陀の教えを学ぶことは智慧を付ける因となります。それは仏陀の教えはユニバーサルトゥルース（普遍の心理）だからです。仏陀の教えは常に正しく、宇宙のある限り正しい教えです。学校で習うことは生活のための知識となりますし、知識を得て働いて得た収入により人々に施しをしたり援助したりしたならそれはよいカンマとなります。現在を生きるために学校で習う知識は必要です。しかしそれは波羅蜜になる智慧とはなりません。波羅蜜となるのは仏陀の教える智慧を付けることです。仏陀の教える智慧は来世に持ち越すことができます。悟りを開くまで持って行くことができる波羅蜜となります。

5) 現世でどのようなカンマを作ればよいのか

長部経典のシンガーラ経からのお話です。シンガーラ経は別名六方礼経とも言い古くから在家者の規律につい

での大切な経と言われています。お釈迦様がシンガーラカという名前の資産家の息子に説かれたお話です。

お釈迦様はラージャガハの町の近くにあるカラダカニヴァーバ僧院（竹林精舎）に滞在されていました。

シンガーラカ青年の両親は大富豪でお釈迦様に完璧に帰依をしていましたがシンガーラカ青年には全く信心がありませんでした。死を間近に迎えた父親は青年に六方を礼拝するようにと言い残しました。青年は父親の言葉を覚えて、その通りに実行していました。ある朝、お釈迦様は資産家の息子シンガーラカが早起きをして東方、南方、西方、北方、下方、上方の各方面に向かって手を合わせて礼拝しているのをご覧になりました。そして

「聖者の律ではそのように六方を礼拝するではありません。」とシンガーラカ青年に説かれました。

「聖なる弟子は四つの業による汚染が捨てられています。四つの理由で悪業を作ることがありません。六つの財産損失の行為に親しみません。以上の十四種類の悪いことから離れて六つの方向を守って二つの世界を征服する為の行者となります。聖なる弟子は死後、善趣、天界に生まれ変わります。」

1) 四つの捨てられている業による汚染

- ① パーナーティパータ (Pāṇātipāta, 殺生)
- ② アディンナーダーナ (Adinnādāna, 偷盗)
- ③ カームスミッチャーチャーラ (Kāmesumicchācāra, 邪淫)

④ ムーサーワーダ (Musāvāda, 妄語)

2) 四つの悪業を作らない行為

① チャンダ (Chanda, 欲) によって非道を行かない。

② ドサ (Dosa, 瞋恚) によって非道を行かない。

③ モハ (Moha, 愚かさ) によって非道を行かない。

④ ビヤヤ (Bhaya, 怖れ) によって非道を行かない。

3) 六つの親しまない財産損失の行為

① スーラー (Sūrā, 穀物酒)、メラヤ (Meraya, 果実酒) などの飲酒という放逸の状態にふける。

② ヴィカーラ (Vikāla, 非時) に道路を歩くことにふける。

③ サマジャ (Samajja, 見世物) を見に行く。

④ ジュータ (Jūta, 賭博) という放逸の原因になるものにふける。

⑤ パーパミッタ (Pāpamitta, 悪友) と親しむことにふける。

⑥ アーラシャ (Ālasya, 怠惰) にふける。

以上が十四種類の避けるべき行いです。そして礼拝して守るべき六方は以下の通り、と説かれました。

1) 東方は母、父として知られるべきです。

2) 南方は師として知られるべきです。

3) 西方は妻子として知られるべきです。

4) 北方は友人、知人として知られるべきです。

5) 下方は召使、雑役婦として知られるべきです。

6) 上方は沙門、婆羅門として知られるべきです。

以上はそれぞれ五つの事柄であると説明が続きます。

1) 東方の母、父に奉仕する。

- ① 養われた私が彼らを養おう。
- ② 彼らの用事を行おう。
- ③ 家系を存続させよう。
- ④ 家督相続をしよう。
- ⑤ 亡くなった祖霊を供養しよう。

2) 南方の師に奉仕する。

- ① 起立、立礼によって。
- ② 奉仕、給仕によって。
- ③ 聴聞によって。
- ④ 恭しく尊敬によって。
- ⑤ 技術の受領によって。

3) 西方の妻に奉仕する。

- ① 敬意によって。
- ② 軽蔑ないことによって。
- ③ 不倫しないことによって。
- ④ 実権を任せることによって。
- ⑤ 装飾品を与えることによって。

4) 北方の友人、知人に奉仕する。

- ① 布施によって。
- ② 愛語によって。
- ③ 利行によって。
- ④ 同時によって。
- ⑤ 正直によって。

- 5) 下方の召使、雑役婦に奉仕する。
- ① 能力に応じた仕事を割り当てることによって。
 - ② 食事、賃金を与えることによって。
 - ③ 病気になったら看護することによって。
 - ④ 稀有な味のことを分かち合うことによって。
 - ⑤ 適切な時に休息を与えることによって。
- 6) 上方の沙門、婆羅門に奉仕する。
- ① 慈しみのある身業によって。
 - ② 慈しみのある口業によって。
 - ③ 慈しみのある意業によって。
 - ④ 門戸を開くことによって。
 - ⑤ 食事を施すことによって。

以上のように奉仕をすることにより次のように思いやりを受けることができます。

- 1) 東方の母、父からの思いやり。
- ① 悪を防止してくれる。
 - ② 善に入らせてくれる。
 - ③ 技術を学ばせてくれる。
 - ④ 相応しい妻と結婚させてくれる。
 - ⑤ 適時に家督を与えてくれる。
- 2) 南方の師からの思いやり。
- ① よく教導されたことを教導してくれる。
 - ② よく把握したことを把握させてくれる。
 - ③ 全ての技術、知識を説いてくれる。
 - ④ 友人、知人を用意してくれる。

- ⑤ いろいろな方面で庇護をしてくれる。
- 3) 西方の妻からの思いやり。
- ① 仕事を良くこなす。
 - ② 周りの人を取りまとめる。
 - ③ 不倫をしない。
 - ④ 得られた財産を守る。
 - ⑤ あらゆることに巧みで勤勉となる。
- 4) 北方の友人、知人から思いやり。
- ① 酔っぱらったら護ってくれる。
 - ② 酔っぱらったら財産を護ってくれる。
 - ③ 怖れている時、拠り所となってくれる。
 - ④ 災難にあった時、見捨てない。
 - ⑤ 子孫にも敬意を払ってくれる。
- 5) 下方の召使、雑役婦からの思いやり。
- ① 先に起きる。
 - ② 後に眠る。
 - ③ 与えられた物のみ受け取る。
 - ④ 仕事を良くこなす。
 - ⑤ 名声、称賛を運んでくれる。
- 6) 上方の沙門、婆羅門から憐みを受ける。
- ① 悪を防止してくれる。
 - ② 善に入らせてくれる。
 - ③ 善い心で憐れんでくれる。
 - ④ まだ聞いたことのないことを聞かせてくれる。
 - ⑤ 聞いていることを明白にしてくれる。

⑥ 天への道を告げてくれる。

お釈迦様はこのように六方を礼拝することの理由を説かれました。

お釈迦様のこれらの教えを聞いたシンガーラカ青年は仏法僧の三宝に帰依しました。

これらの教えは現代社会でもそれぞれの立場に当てはめることができます。現世でパヨガサンパティになり善いカンマを作ることができる教えです。

6) 自分で変えられるサンパティ、ヴィパティと 変えられないサンパティ、ヴィパティ

1) ガティサンパティ、ガティヴィパティは過去のカンマの原因によるものなので自分で変えることができません。

マラナサンニャー, *Marāṇasaññā*, 死想) でクサラカンマを作ったらパティサンディ (*Paṭisandhi*, 結生) はガティサンパティの善い界に結実します。

マラナサンニャーでアクサラカンマを作ったらパティサンディはガティヴィパティの悪趣界に結実します。

2) ウパディサンパティ、ウパディヴィパティは基本的には変えることができません。例えば遺伝性の病気があったり障害を持っていた場合は変えることができません

ん。しかし、一部分においては、以前は変えることができませんでしたが化粧の技術や医学が発達している現在では、たとえば醜い顔を化粧で隠したり美容整形手術を受けたりして変えることができます。

3) カーラサンパティ、カーラヴィパティは自分一人の力で変えることはできません。大勢の人の努力により一部を変えることができます。善いカンマの結果として政治の安定した平和な国に生まれたとしてカーラサンパティだったとしても悪いリーダーがでて戦争などに巻き込まれカーラヴィパティに変わってしまった場合、自分一人ではカーラサンパティに戻すことはなかなかできません。大勢の人の努力により変えられる場合もあります。

4) パヨガサンパティ、パヨガヴィパティは完璧に自分自身の努力により変えることができます。五戒などの戒律をしっかりと守り、気づき、善い努力、智慧を備え、十善行を行うことにより善い環境を作ればパヨガサンパティとなります。過去のクサラカンマが熟して結実する機会となります。その反対に戒律を守らず、気づきがなく、悪いことへの努力があり、智慧が少ないと環境が悪くなりパヨガヴィパティとなります。過去のアクサラカンマが熟して結実する機会となってしまいます。このようにパヨガサンパティ、パヨガヴィパティは完全に自分自身の行為により変えることができるのです。

最後にお釈迦様の説かれた大切な偈をいくつか紹介します。

ナヒ ダン モ ア ダン モ チャ ウ ボ サマヴィパーキノ
Nahi dhammo Adhammo ca, ubho samavipākino;

ア ダン モ ニラヤン ネティ ダン モ パーペティ スツガティン
Adhammo nirayaṃ neti, dhammo pāpeti suttgaṭiṃ.

善法も悪法も双方とも同じように結果を伴います。
悪法は地獄に導かれ、善法は善趣（人間界、天界）に到達します。（THG272, JT1-15）

アナヴァジャスカヴィパーカ ラッカナー クサラー
Anavajjasukhavipāka lakkhaṇā kusalā,

サーヴァジャドゥッカヴィパーカ ラッカナー アクサラー
sāvajjadukkhavipāka lakkhaṇā akusalā,

アヴィパーカ ラッカナー アビヤーカター
avipāka lakkhaṇā abyākatā.

善行は過失の無い幸福な結果という相をもたらします。
悪行は過ちのある苦しい結果という相をもたらします。
無記（阿羅漢）はいかなる結果の相もありません。
（AA1-82）

木に実る果物に例えてみれば、マンゴーの種を植えたなら必ずマンゴーの実が実ります。柿やココナッツの実はありません。そのことと同じようにクサラカンマを植えて熟したらクサラの結果が実ります。アクサラカンマを植えて熟したらアクサラの結果が生じます。

マーヴァマンニェタ パーパッサ ナ マンタン アーガミッサティ
Māvamaññetha pāpassa, na mantaṃ āgamissati;

ウダビンドゥニパーテナ ウダクンボビ プーラティ
Udabindunipātena, udakumbhopi pūrati;

バーロ プーラティ パーパッサ トカン トカンピ アーチナン
Bālo pūrati pāpassa, thokaṃ thokampi ācinaṃ.

「私にはそれは帰ってこないだろう。」と小さな悪行を軽くみないでください。

水滴が落ちていくとやがて水がめが満ちることと同じように愚か者が悪行を少しずつ積んで行くと悪で満たされます。(DM121)

マーヴァンニェタ プンニャッサ ナ マンタン アーガミッサティ
Māvamaññetha puññassa, na mantaṃ āgamissati;

ウダビンドゥニパーテナ ウダクンボビ プーラティ
Udabindunipātena, udakumbhopi pūrati;

ディーロ プーラティ プンニャッサ トカン トカンピ アーチナン
Dhīro pūrati puññassa, thokaṃ thokampi ācinaṃ.

「私にはそれは帰ってこないだろう。」と小さな善行を軽くみないでください。

水滴が落ちていくとやがて水がめが満ちることと同じように賢い者が善行を少しずつ積んで行くと善で満たされます。(DM122)

以上でカンマとサンパティ、ヴィパティの繋がりについての説明を終わります。

經典資料略字

ADA = Abhidhamma piṭaka aṭṭhakathā 論藏註釈

ADK = Abhidhamma piṭaka kathāvattupāli 論藏論事

ADP = Abhidhamma piṭaka paṭṭānapāli 論藏発趣論

ANA = Aṅguttara nikāya aṭṭhakathā 増支部経注釈

ANS = Aṅguttara nikāya sattakanipāthapāli 増支部経第七集

ANT = Aṅguttara nikāya ṭikā 増支部経復註

Ap = Apadāna 譬喩経

DPA = Dhammapada aṭṭhakathā 法句経註釈

JA = Jātaka aṭṭhakathā ジャータカ註釈

MN = Majjhima nikāya 中部経

MNA = Majjhima nikāya aṭṭhakathā 中部経註釈

PD = Paramattha dīpanī 第一義註釈

ThG = Theragāta 長老偈

ViA = Vinaya aṭṭhakathā 律藏註釈

VM = Visuddhimagga 清浄道論

VMT = Visuddhimagga ṭikā 清浄道論復註

本文中の番号は全てミャンマー版經典のもの

あとがき

スマナ比丘のご法話の三冊目となる今回は業についてのお話です。最終章では今をどのように生きたらいいのか、お釈迦様のお言葉を基に教えてくださっています。

怠け心がでたりした時、誰かに怒りの感情がでてしまった時、ゴキブリを見つけた時などにはサンパティの環境になるように、ヴィパティにならないように‘気づき’を持って対処して行けたらいいなあと、編集をしながら“気づき”“努力”“智慧”を持てるように頑張らねば、と改めて思いました。

皆さまのお布施によりこの本を出版いたします。

お布施をしてくださった皆様や編集の為に法話を聞き取り文字起しの手伝いをしてくださった平野舞様のご協力に感謝申し上げます。

皆様もお釈迦様のお教えを心に留めて善に満たされた日々を過ごされますように心からお祈り申し上げます。

皆さまが健康で幸せでありますように。

お釈迦様のお教えが末永く続きますように。

Sādhu Sādhu Sādhu

編集 北川美幸

2025年3月吉日

この本は無償にて配布いたします

Dhammapada Pāpavaggo (法句 悪行の章)

Abhittharetha kalyāṇe, pāpā cittaṃ nivāraye;

Dandhañhi karoto puññaṃ, pāpasmiṃ ramaṭī mano.

善いことは急いでして、悪いことから心を護りましょう。

善い行いを躊躇したなら、心は悪を楽しんでしまいます。(116)

Pāpañce puriso kayirā, na naṃ kayirā punappunaṃ;

Na tamhi chandaṃ kayirātha, dukkho pāpassa uccayo.

人は悪いことをしても、さらに繰り返してはいけません。

それに意欲を出さないでください。悪いことを積むのは苦です。(117)

Puññañce puriso kayirā, kayirā naṃ punappunaṃ;

Tamhi chandaṃ kayirātha, sukho puññaṃssa uccayo.

人は善いことをしたなら、それを続けて行いましょう。

それに意欲を出してください。善いことを積むのは楽しみです。(118)

Pāpopi passati bhadraṃ, yāva pāpaṃ na paccati;

Yadā ca paccati pāpaṃ, atha pāpo pāpāni passati.

悪が熟していないうちは、悪人でも善を見ます。

しかし悪が熟したなら、悪人はもろもろの悪を見ます。(119)

Bhadropi passati pāpaṃ, yāva bhadraṃ na paccati;

Yadā ca paccati bhadraṃ, atha bhadro bhadrāni passati.

善が熟していないうちは、善人でも悪を見ます。

しかし善が熟したなら、善人はもろもろの善を見ます。(120)